

WindowsXPを使用したパソコンでファイルを共有する

WindowsXPを使用したパソコンで、USBネットワークまたはRAS接続を使用してパソコン間でファイル共有を行うための設定方法を説明致します。

目次

1 . WindowsXPのパソコンをサーバとして使用する場合の設定	2
1 . 1 WindowsXPサーバの設定	2
1 . 1 . 1 着信接続アイコンの作成	2
1 . 1 . 2 ファイル共有の設定	7
1 . 2 クライアントの設定(WindowsXP)	8
1 . 2 . 1 ワークグループ名の設定	8
1 . 2 . 2 ダイアルアップの接続先を作成する	11
1 . 3 クライアントの設定(Windows2000)	17
1 . 3 . 1 ワークグループ名の設定	17
1 . 3 . 2 ダイアルアップの接続先を作成する	20
1 . 4 クライアントの設定(WindowsMe、Windows98、Windows98SE)	26
1 . 4 . 1 ワークグループ名の設定	26
1 . 4 . 2 ダイアルアップの接続先を作成する	27
2 . WindowsXPのパソコンをクライアントとして使用する場合の設定	30
2 . 1 サーバの設定(Windows2000)	30
2 . 1 . 1 着信接続アイコンの作成	30
2 . 1 . 2 ファイル共有の設定	34
2 . 2 サーバの設定(WindowsMe、Windows98、Windows98SE)	35
2 . 2 . 1 ダイアルアップサーバのインストール	35
2 . 2 . 2 Microsoftネットワーク共有サービスのインストール	37
2 . 2 . 3 ダイアルアップサーバの設定	41
2 . 2 . 4 共有の設定	44
2 . 3 WindowsXPクライアントの設定(サーバパソコンがWindows2000の場合)	46
2 . 4 WindowsXPクライアントの設定(サーバパソコンがWindowsMe、Windows98、Windows98SEの場合)	46
2 . 4 . 1 ワークグループ名の設定	46
2 . 4 . 2 ダイアルアップの接続先を作成する	47
3 . WindowsXPのパソコンをクライアントとして接続する方法	54
3 . 1 接続方法	54
3 . 2 サーバーのパソコンを検索する	55
4 . 補足情報	57
4 . 1 ファイル共有の設定 補足	57
4 . 2 Windowsファイアウォールの設定	59

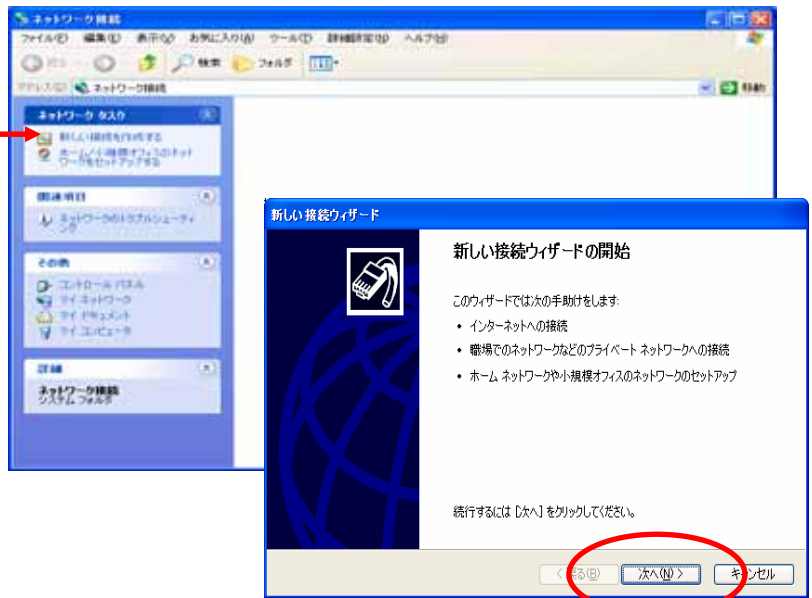
1. WindowsXPのパソコンをサーバとして使用する場合の設定

1.1 WindowsXPサーバの設定

1.1.1 着信接続アイコンの作成

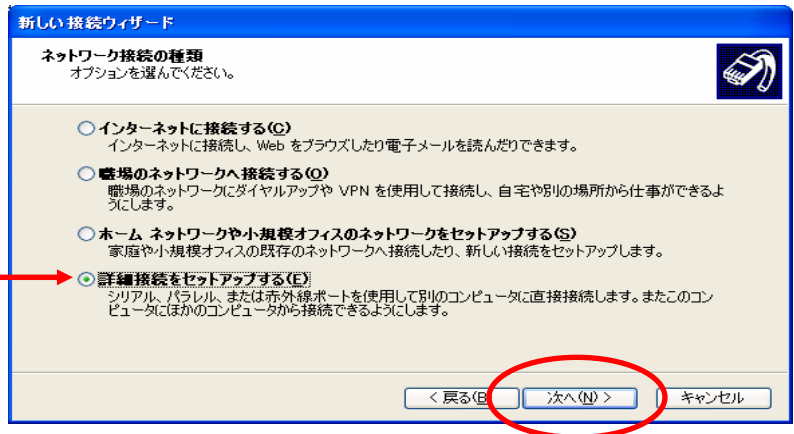
[スタート] - [コントロールパネル] - [ネットワークとインターネット接続]
- [ネットワーク接続]をクリックしてください。

[新しい接続を作成する]を
クリックします。



[次へ]をクリックします。

[詳細接続をセットアップする]を
選択し[次へ]をクリックします。



次項へ

[着信接続を受け付ける]を選択し[次へ]をクリックします。

新しい接続ウィザード

接続の詳細オプション
どの種類の接続を設定しますか?

使用する接続の種類を選択してください:

- 着信接続を受け付ける(A)**
インターネット、電話線、または直接ケーブル接続をとめてほかのコンピュータがこのコンピュータへ接続できるようにします。
- ほかのコンピュータに直接接続する(C)**
シリアル、パラレル、または赤外線ポートを使用して別のコンピュータへ接続します。

< 戻る(B) **次へ(N) >** キャンセル

着信用に使用する接続デバイスを選択し[次へ]をクリックします。

新しい接続ウィザード

着信接続に使うデバイス
このコンピュータで着信接続を受け付けるのに使うデバイスを選択できます。

着信接続に使う各デバイスのとなりのチェック ボックスをオンにします。

接続デバイス(O):

- INSMATEV70G-MAX USB Standard
- 直接パラレル (LPT1)

プロパティ(R)

< 戻る(B) **次へ(N) >** キャンセル

[着信プライベート接続を許可しない]を選択し[次へ]をクリックします。

新しい接続ウィザード

着信した仮想プライベート ネットワーク (VPN) 接続
VPN 接続を使うと、別のコンピュータがこのコンピュータへ接続できるようになります。

このコンピュータにインターネット上で認識される名前または IP アドレスがある場合のみ、インターネット上でこのコンピュータへ仮想プライベート接続を行うことができます。

VPN 接続を許可すると、Windows はこのコンピュータがパケットを送信および受信できるように、インターネット接続ファイアウォールを変更します。

このコンピュータで仮想プライベート接続を許可するかどうかを選択してください:

- 仮想プライベート接続を許可する(A)
- 仮想プライベート接続を許可しない(N)**

< 戻る(B) **次へ(N) >** キャンセル

[追加]をクリックします。

新しい接続ウィザード

ユーザーの許可
このコンピュータへ接続できるユーザーを指定することができます。

このコンピュータへの接続を許可する各ユーザーの名前のとなりのチェック ボックスをオンにしてください。注意: ユーザー アカウントが無効になっているなどのほかの要因によって、ユーザーが接続できなくなる場合があります。

接続を許可するユーザー(U):

- Administrator
- Guest
- HelpAssistant (Remote Desktop Help Assistant Account)
- SUPPORT_388945a0 (CN=Microsoft Corporation,L=Redmond,S=Washington,C=US)

追加(A)... 削除(R) プロパティ(P)

< 戻る(B) 次へ(N) > キャンセル

次項へ

着信接続を許可する
[ユーザー名]とその[パスワード]を
入力し[OK]をクリックします。

追加した[接続を許可するユーザー]を
選択し[次へ]をクリックします。

[インターネットプロトコル(TCP/IP)]
[Microsoftネットワーク用
ファイルとプリンタ共有]
[Microsoftネットワーク用クライアント]
の3つにチェックしてあることを確認し
(チェックがなければチェックしてください)
[次へ]をクリック

[完了]をクリックしてください。

次項へ

新しいユーザー

ユーザー名(U): pc-user
フルネーム(F): pc-user
パスワード(P): ****
パスワードの確認入力(C): ****

OK キャンセル

新しい接続ウィザード

ユーザーの許可
このコンピュータへ接続できるユーザーを指定することができます。

このコンピュータへの接続を許可する各ユーザーの名前のとりのチェック ボックスをオンにしてください。注意: ユーザー アカウントが無効になっているなどのほかの要因によって、ユーザーが接続できなくなる場合があります。

接続を許可するユーザー(U):

- Administrator
- Guest
- HelpAssistant (Remote Desktop Help Assistant Account)
- pc-user (pc-user)
- SUPPORT_388945a0 (CN=Microsoft Corporation,L=Redmond,S=Washington,C=US)

追加(A)... 削除(R) プロパティ(P)

< 戻る(B) 次へ(N) > キャンセル

新しい接続ウィザード

ネットワーク ソフトウェア
ネットワーク ソフトウェアを使うと、ほかの種類別のコンピュータがこのコンピュータに接続できるようになります。

着信接続に対して有効にする各ネットワーク ソフトウェアのとりのチェック ボックスをオンにします。

ネットワーク ソフトウェア(S):

- インターネット プロトコル (TCP/IP)
- Microsoft ネットワーク用ファイルとプリンタ共有
- Microsoft ネットワーク用クライアント

インストール(I)... アンインストール(U) プロパティ(P)

説明
伝送制御プロトコル/インターネット プロトコル、相互接続されたさまざまなネットワーク間の通信を提供する、既定のワイルド エリア ネットワーク プロトコルです。

< 戻る(B) 次へ(N) > キャンセル

新しい接続ウィザード

新しい接続ウィザードの完了

次の接続の作成に必要な手順は正常に完了しました。

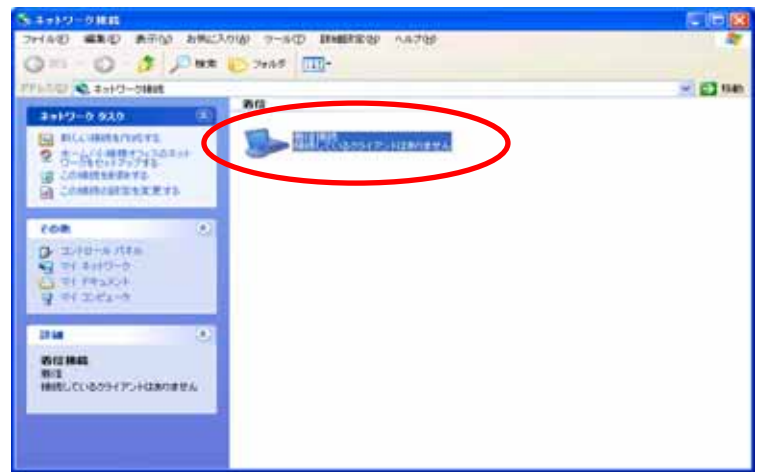
着信接続

この接続は、[ネットワーク接続] フォルダに保存されます。

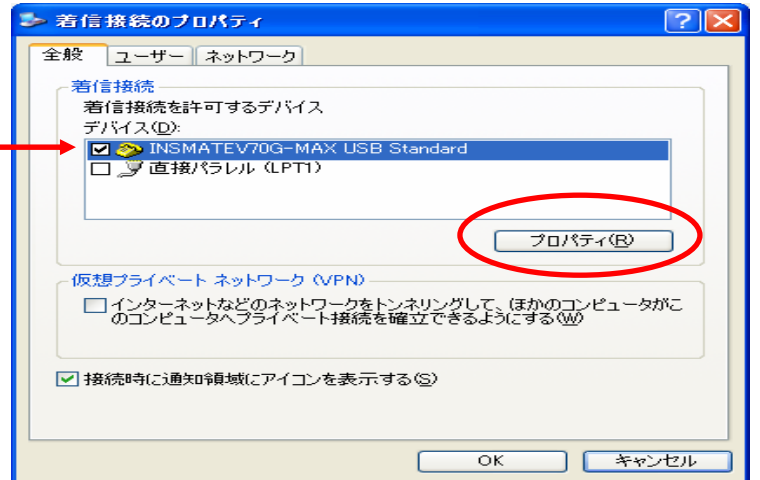
接続を作成してウィザードを閉じるには、[完了] をクリックしてください。

< 戻る(B) 完了 キャンセル

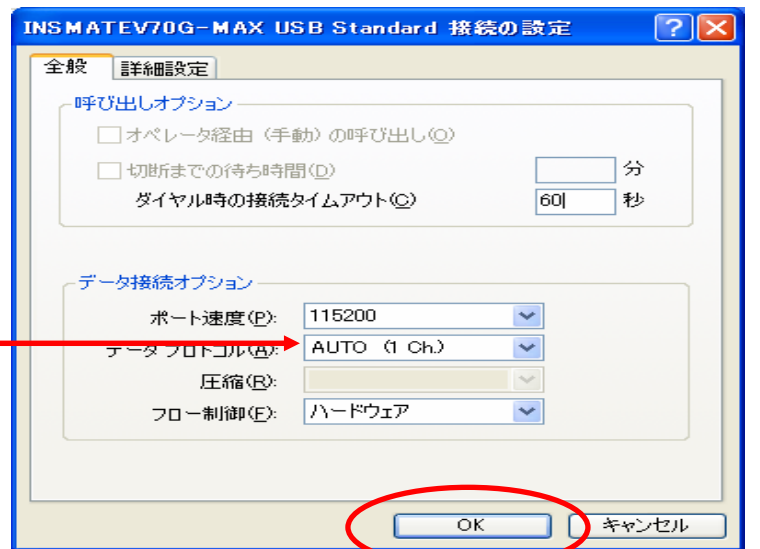
[着信接続]を右クリックしプロパティをクリックしてください。



着信接続を許可するデバイスを選択し[プロパティ]をクリックしてください。



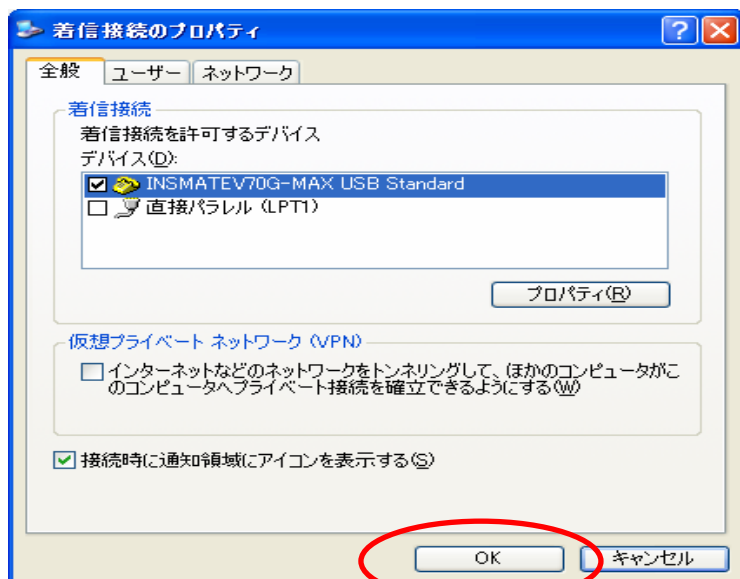
[AUTO(1 Ch)]となっていることを確認し[OK]をクリックしてください。
128Kで着信させたい場合は[PPP(128K)]を選択してください。



次項へ

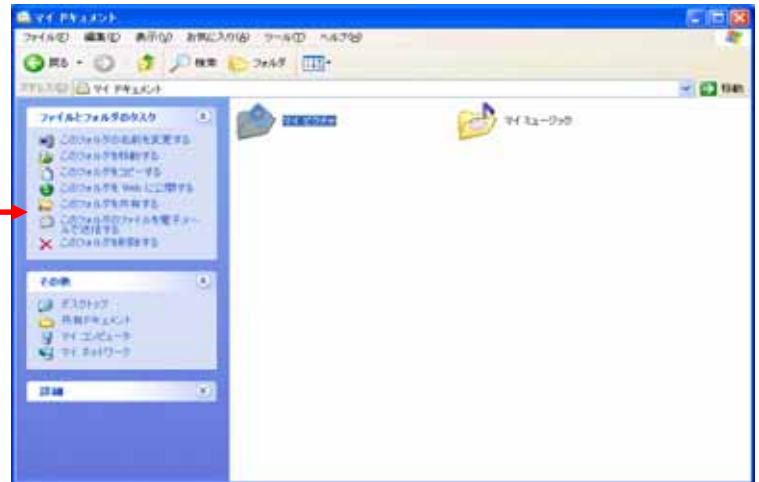
[OK]をクリックしてください。

これで着信アイコンの作成は完了です。

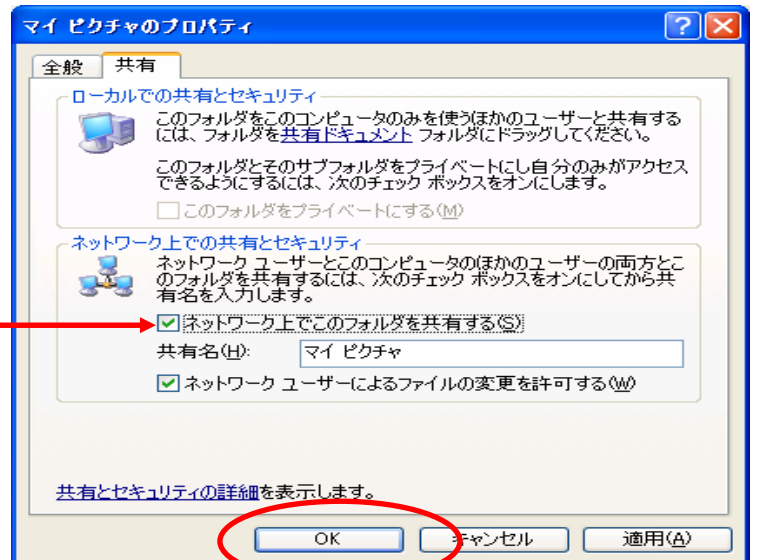


1.1.2 ファイル共有の設定

共有したいフォルダを選択し
[このフォルダを共有する]
をクリックしてください

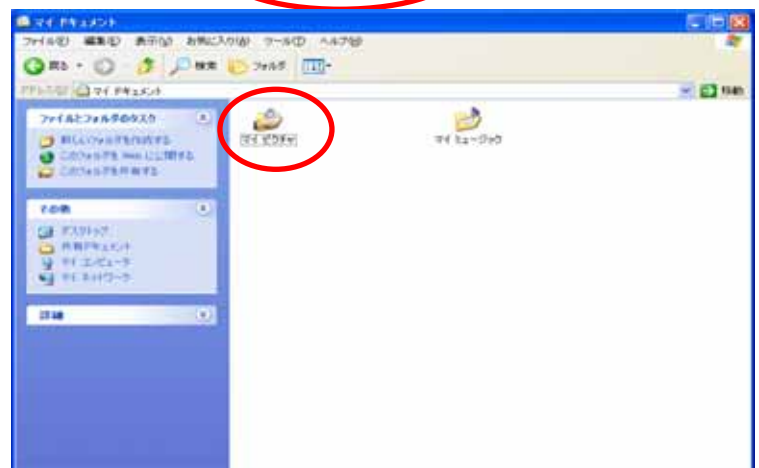


[ネットワーク上でこのフォルダを共有する]
をチェックし[OK]をクリックしてください



ご利用の環境 (WindowsXPサー
ビスパック2適用パソコンなど)によ
っては、右の画面が表示されな
いことがあります。その場合、「4.1項
ファイル共有の設定 補足」を参照
してください。

共有フォルダに手のマークが
つきます。



これでファイル共有の設定は
終了です。

これでWindowsXPサーバの
設定を終了します。

1.2 クライアントの設定(WindowsXP)

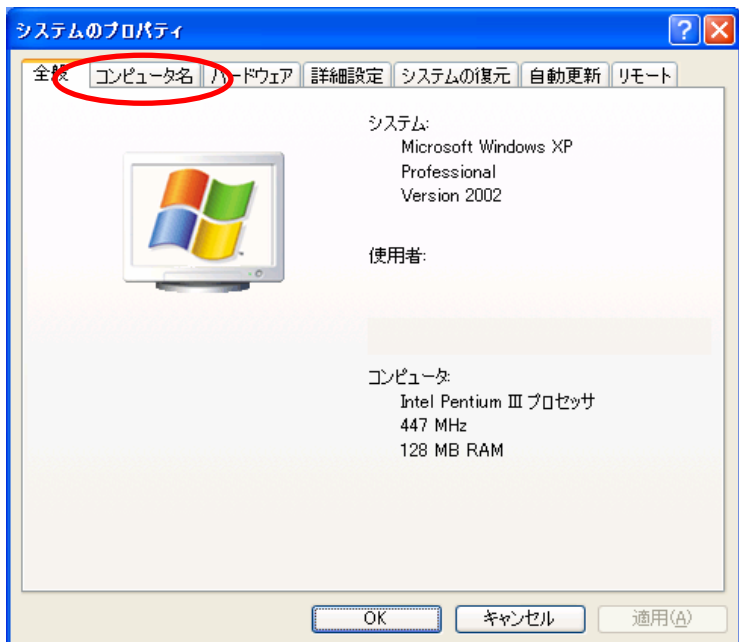
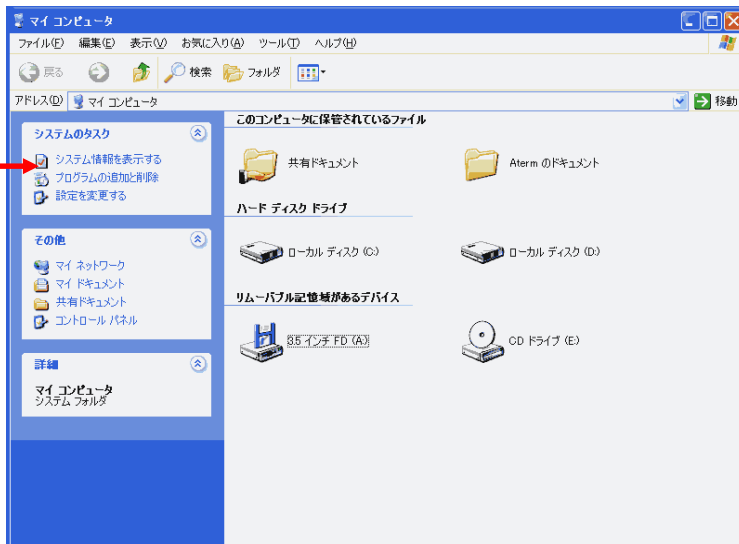
1.2.1 ワークグループ名の設定

[スタート] - [マイコンピュータ]を
クリックしてください。

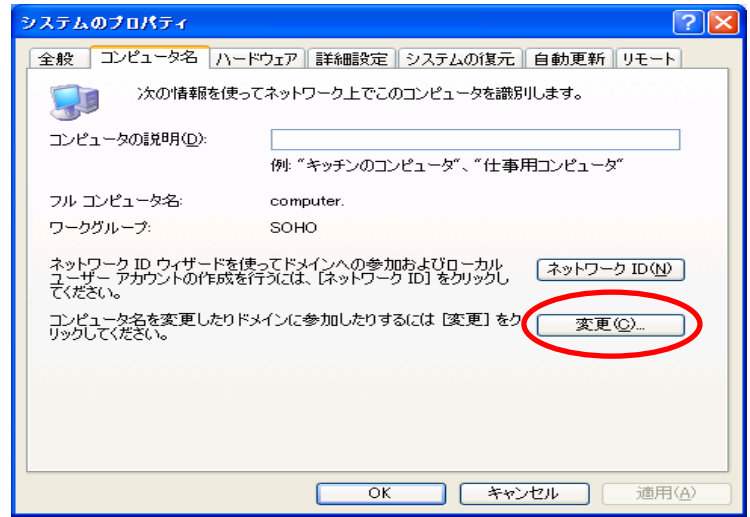
[システム情報を表示する]を
クリックしてください。

[コンピュータ名]をクリックしてください。

次項へ



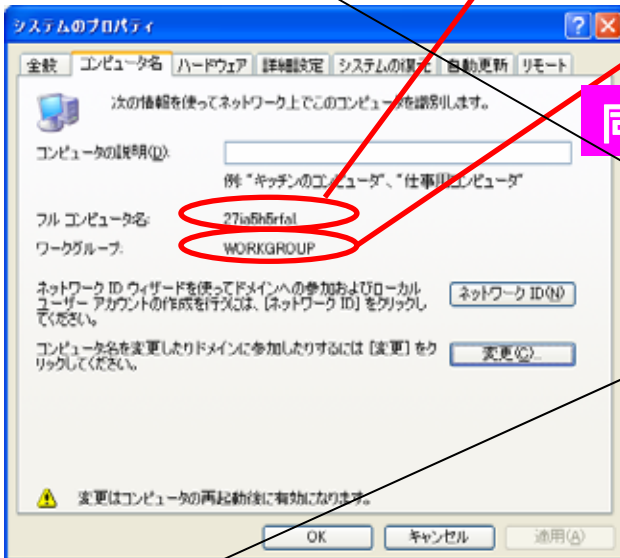
[変更]をクリックしてください。



[コンピュータ名]はサーバと違う名前を入力してください。

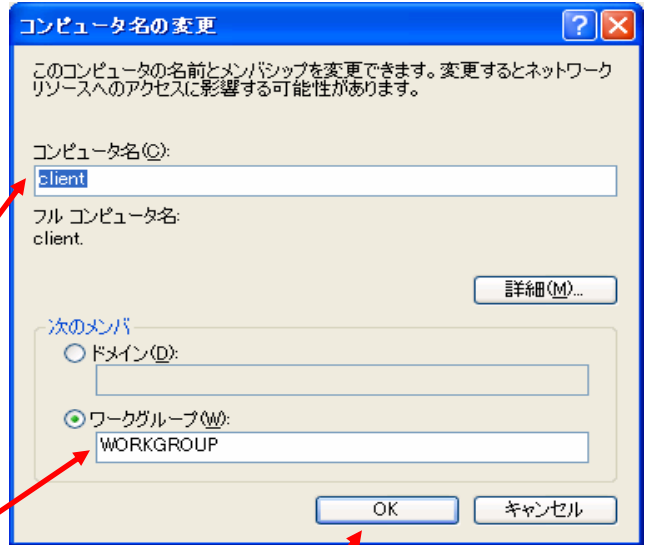
[ワークグループ]名はサーバと同じ名前にしてください。

サーバの画面



違う名前

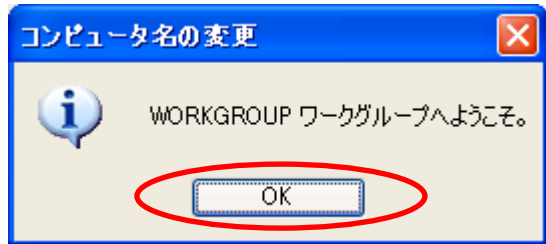
同じ名前



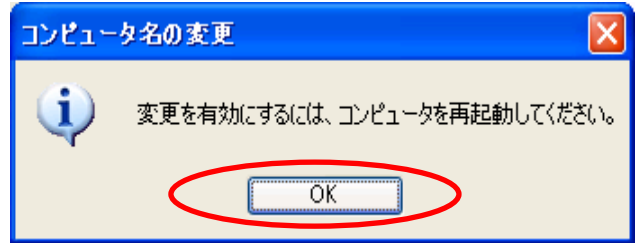
[OK]をクリックしてください。

次項へ

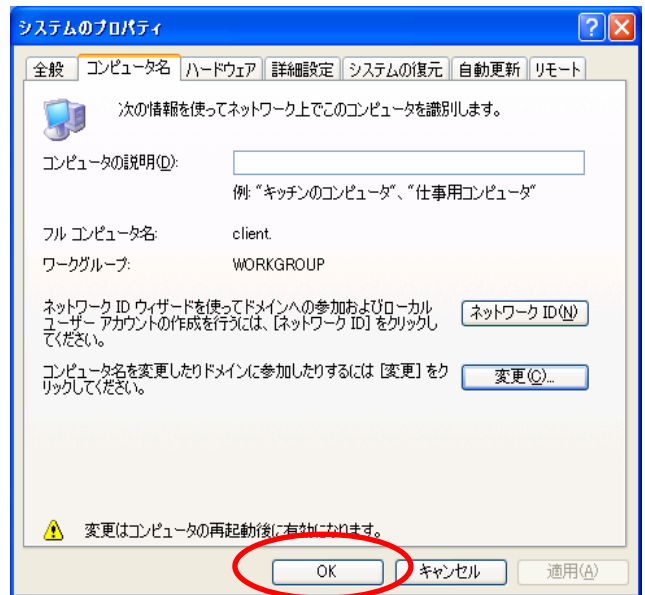
[OK]をクリックしてください。



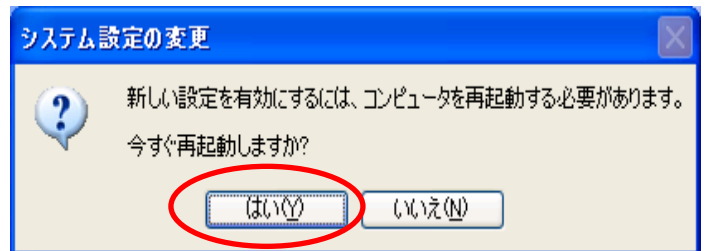
[OK]をクリックしてください。



[OK]をクリックしてください。



[はい]をクリックして再起動してください。

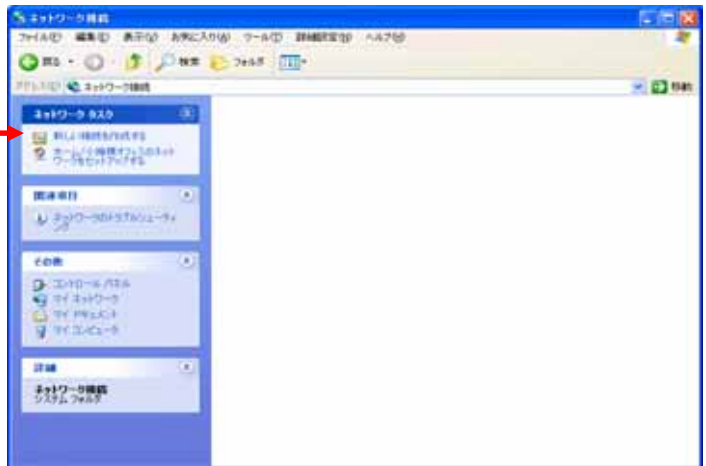


これでワークグループ名の設定は終了です。

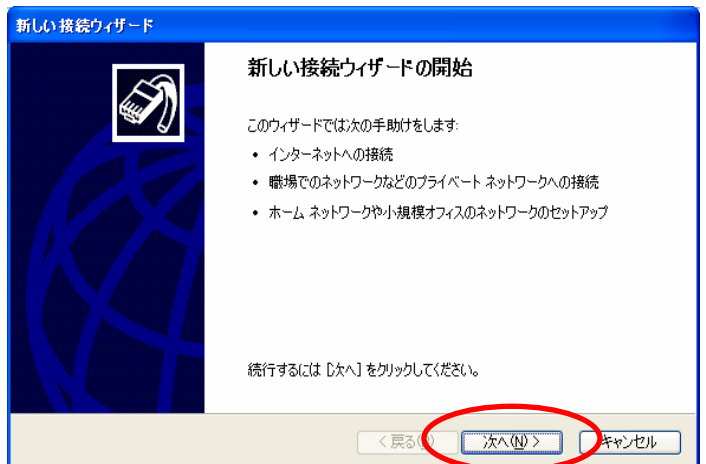
1.2.2 ダイアルアップの接続先を作成する

[スタート] - [コントロールパネル] - [ネットワークとインターネット接続]
- [ネットワーク接続]をクリックしてください。

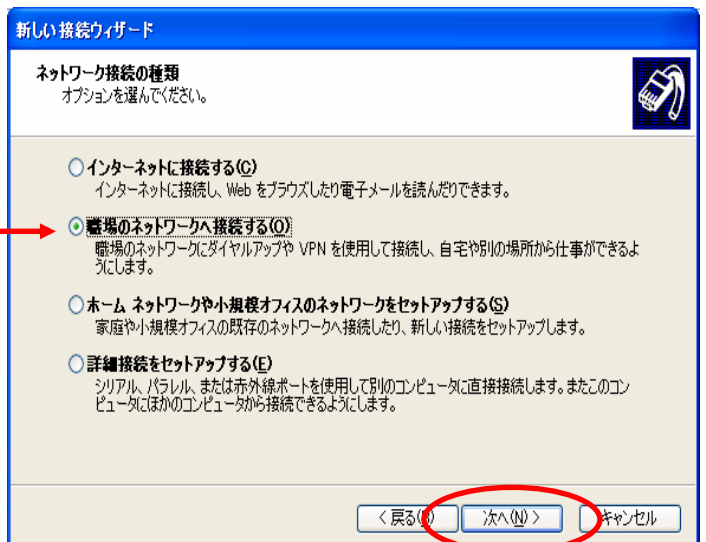
[新しい接続を作成する]
をクリックしてください。



[次へ]をクリックしてください。

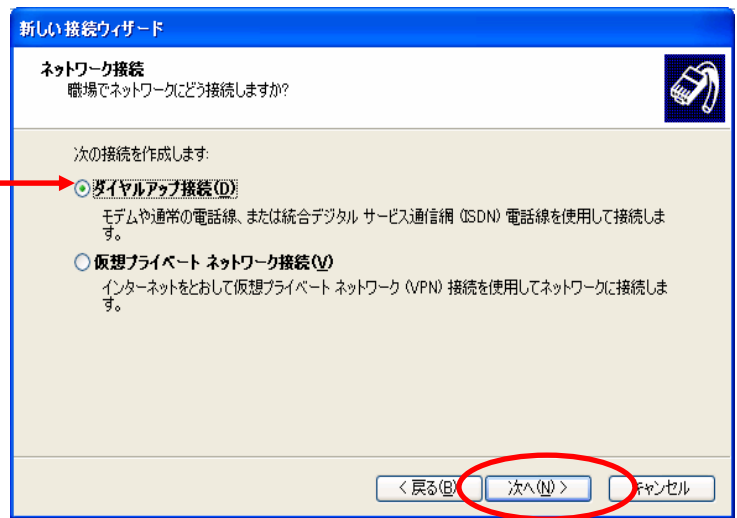


[職場のネットワークへ接続する]
[次へ]をクリックしてください。

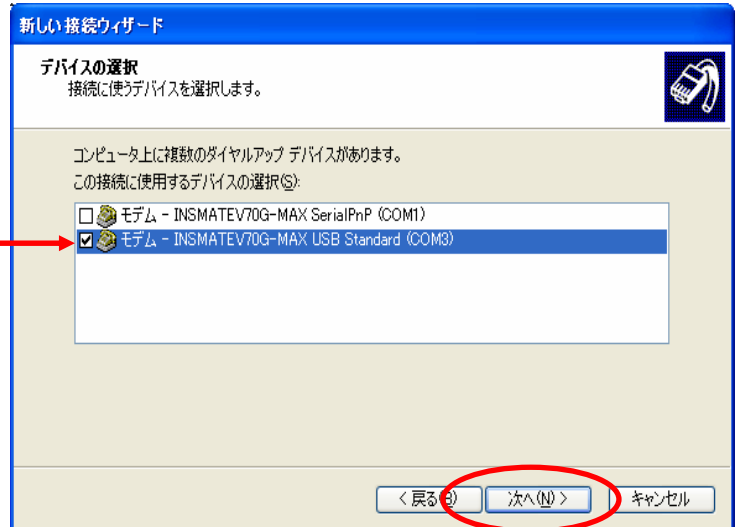


次項へ

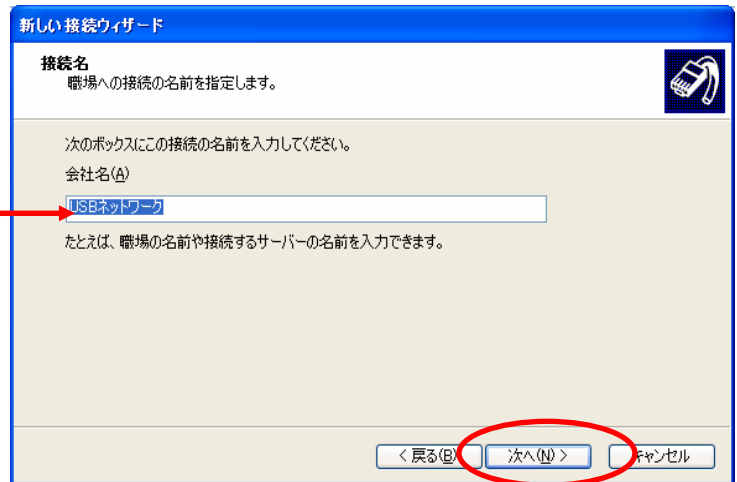
[ダイヤルアップ接続]を選択し
[次へ]をクリックしてください。



接続に使用するデバイスを選択し
[次へ]をクリックしてください。



接続の名前の入力し
[次へ]をクリックしてください。



次項へ

接続先の電話番号を入力し
[次へ]をクリックしてください。

USBネットワークでご利用の場合、
サーバパソコンの電話番号は、
USBポート:00
RS-232Cポート:02
と入力してください。

[完了]をクリックしてください。

[プロパティ]をクリックしてください。

次項へ

新しい接続ウィザード

ダイヤルする電話番号
この接続にはどの電話番号をしますか?

下に電話番号を入力してください。

電話番号(P):
00

識別番号または市外局番が必要な場合があります。よくわからないときは、電話でその電話番号にダイヤルしてください。モデムの音が聞こえる場合はダイヤルしたその番号が正解です。

< 戻る(B) 次へ(N) > キャンセル

新しい接続ウィザード

新しい接続ウィザードの完了

次の接続の作成に必要な手順は正常に完了しました。

USBネットワーク

- このコンピュータのすべてのユーザーと共有する

この接続は、[ネットワーク接続] フォルダに保存されます。

この接続へのショートカットをデスクトップに追加する(S)

接続を作成してウィザードを開けるには、[完了] をクリックしてください。

< 戻る(B) 完了 キャンセル

USBネットワークへ接続

ユーザー名(U):

パスワード(P):

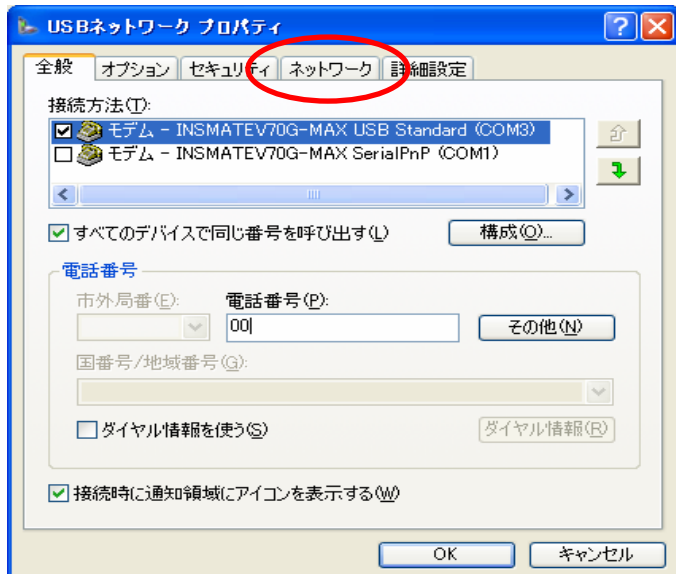
次のユーザーが接続するとき使用するために、このユーザー名とパスワードを保存する(S):

- このユーザーのみ(N)
- このコンピュータを使うすべてのユーザー(A)

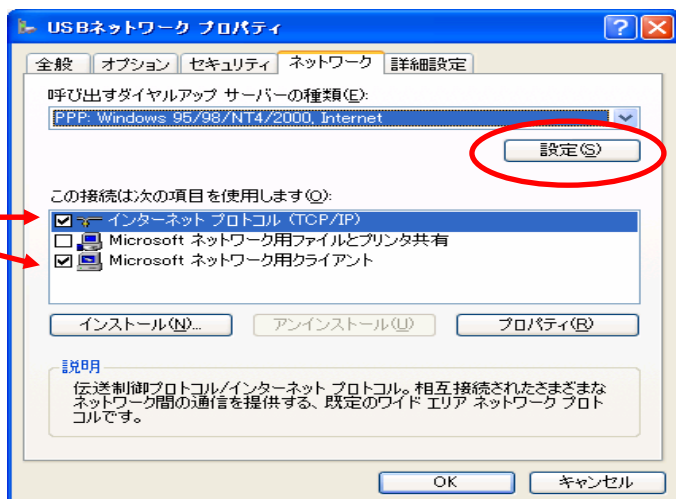
ダイヤル(D): 00

ダイヤル(D) キャンセル プロパティ(P) ヘルプ(H)

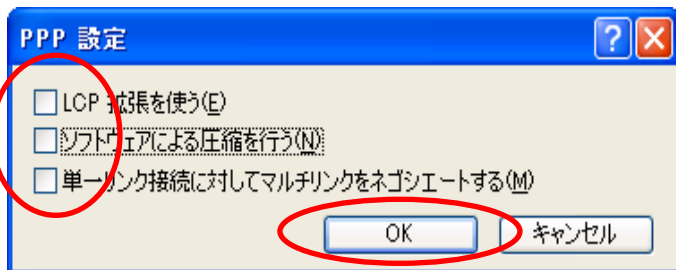
[ネットワーク]をクリックしてください。



[インターネットプロトコル(TCP/IP)]
[Microsoftネットワーク用クライアント]を
チェックして、[設定]をクリックしてください。

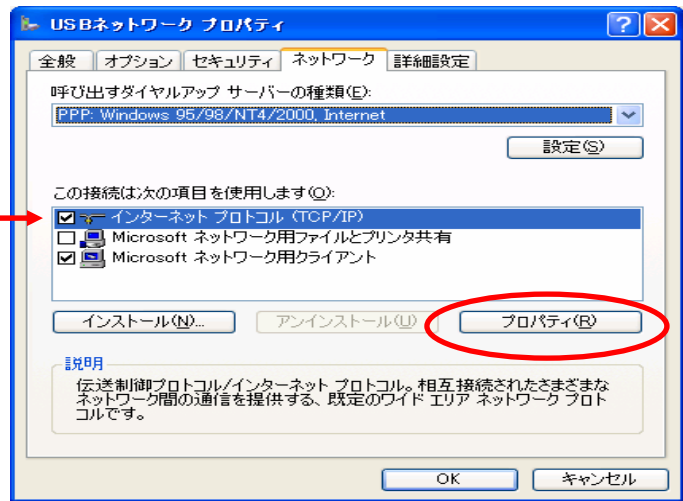


全てのチェックをはずして
[OK]をクリックしてください。

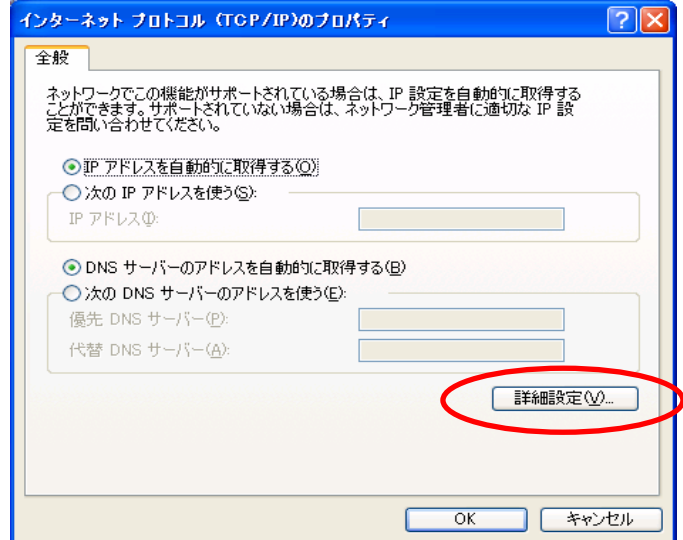


次項へ

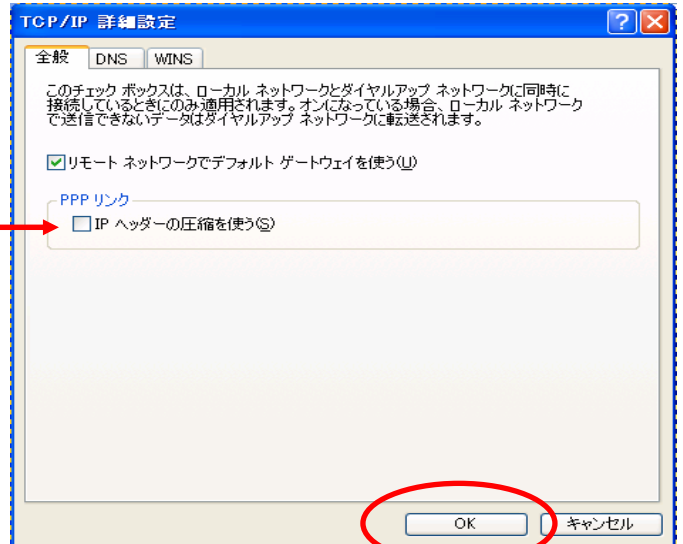
[インターネットプロトコル(TCP/IP)]を選択し
[プロパティ]をクリックしてください。



[詳細設定]をクリックしてください。



[IPヘッダー圧縮を使う]のチェックをはずし
[OK]をクリックしてください。



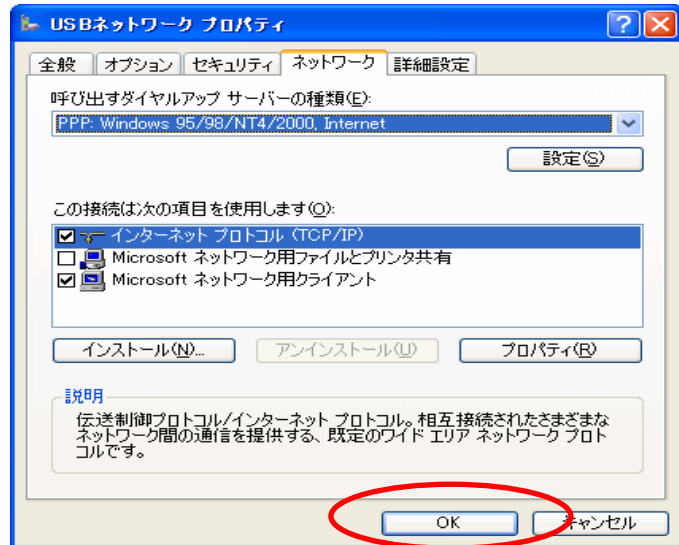
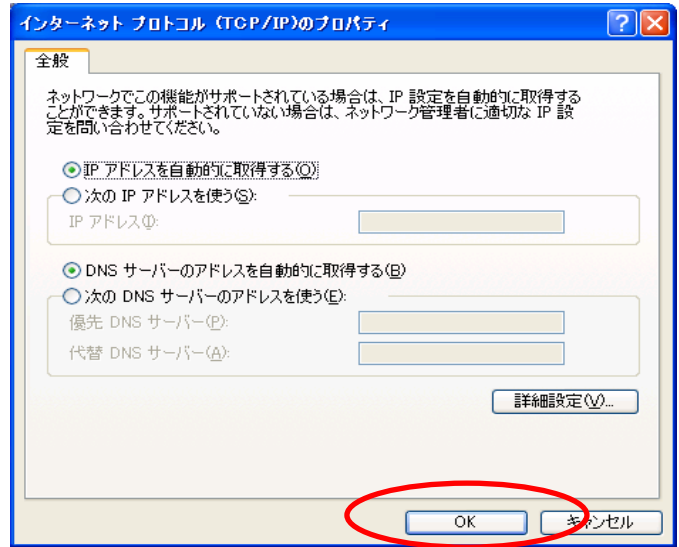
次項へ

[OK]をクリックしてください。

[OK]をクリックしてください。

これでダイヤルアップの接続先を作成は終了です。

これでWindowsXPサーバの場合のWindowsXPクライアントの設定を完了します。



1.3 クライアントの設定(Windows2000)

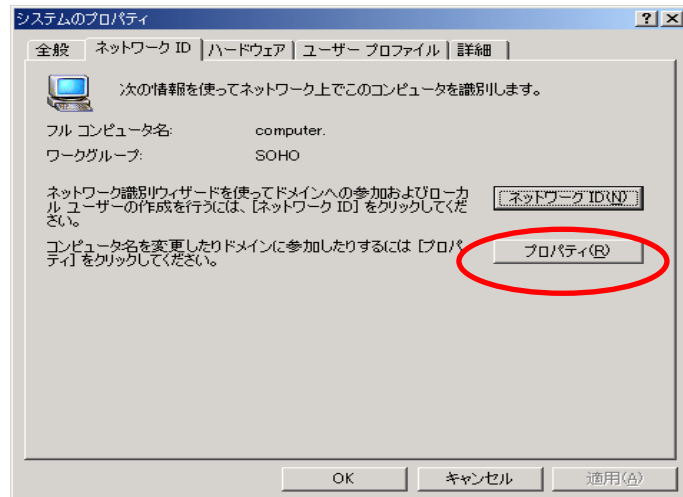
1.3.1 ワークグループ名の設定

[スタート] - [設定] - [コントロールパネル]をクリックし[システム]をダブルクリックしてください。

[ネットワークID]をクリックしてください。

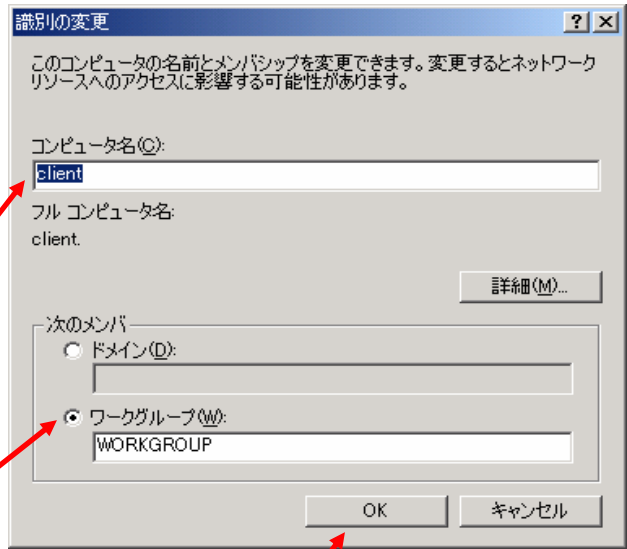
[プロパティ]をクリックしてください。

次項へ



[コンピュータ名]はサーバと違う名前を入力してください。

[ワークグループ]名はサーバと同じ名前にしてください。

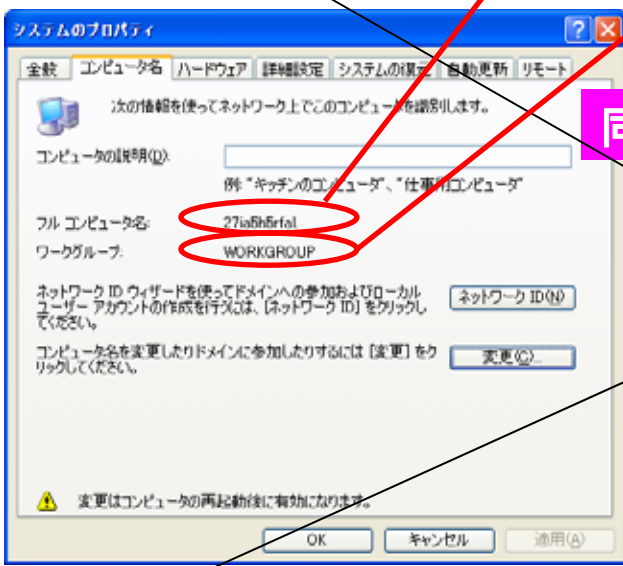


違う名前

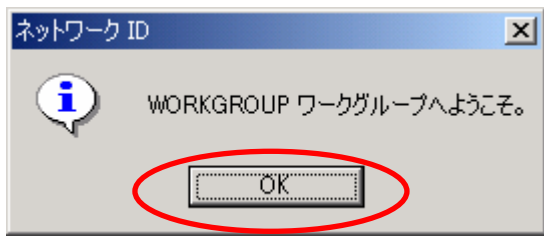
同じ名前

[OK]をクリックしてください。

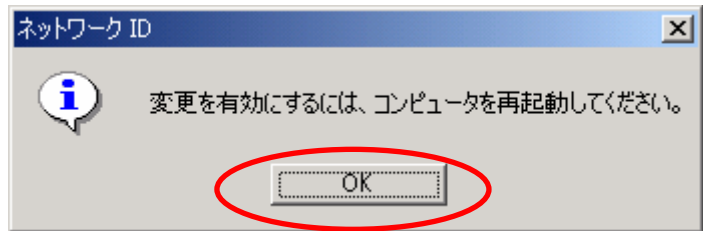
サーバの画面



[OK]をクリックしてください。



[OK]をクリックしてください。

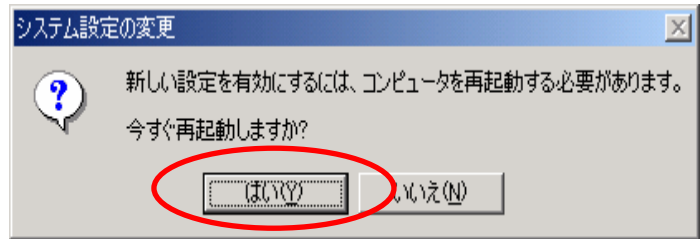
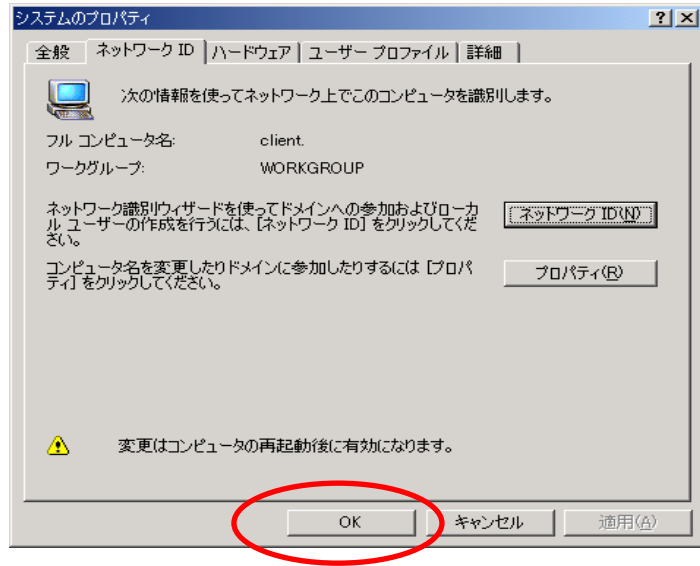


次項へ

[OK]をクリックしてください。

[はい]をクリックし再起動してください。

これでワークグループ名の設定は終了です。



1.3.2 ダイアルアップの接続先を作成する

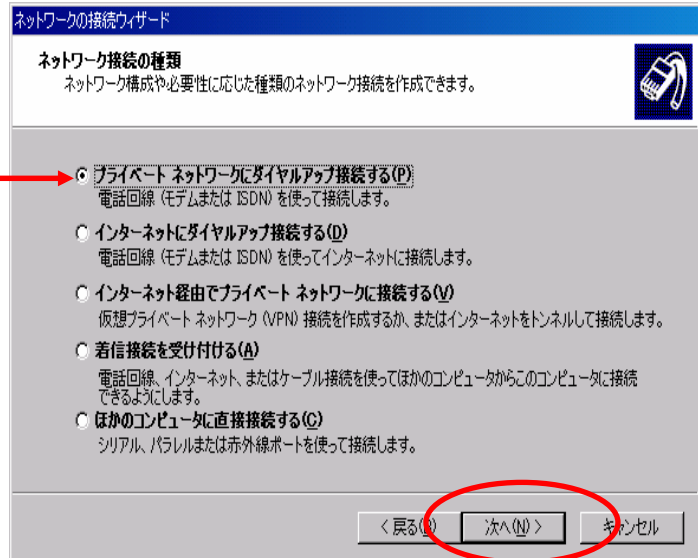
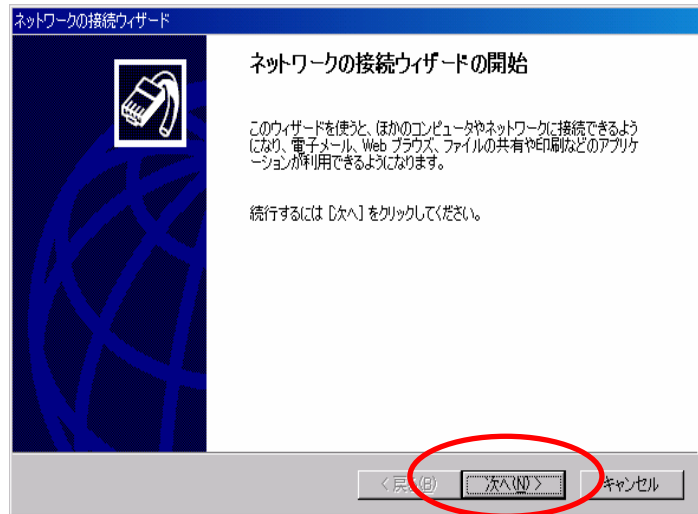
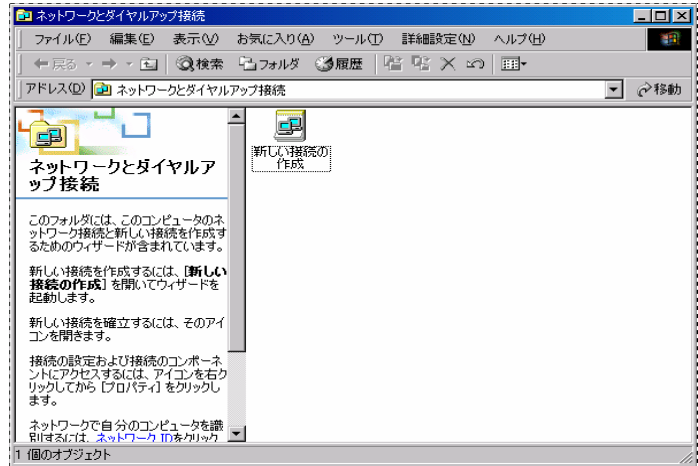
[スタート] - [設定] - [コントロールパネル] -
[ネットワークとダイアルアップ接続]をクリックしてください。

[新しい接続の作成]をダブルクリックしてください。

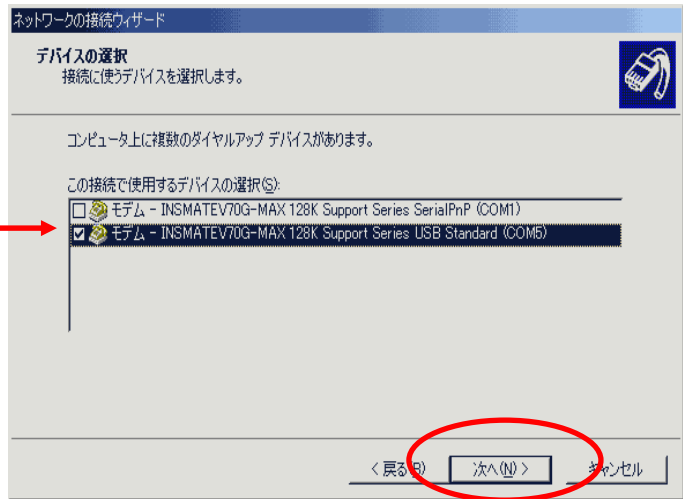
[次へ]をクリックしてください。

[プライベートネットワークに
ダイアルアップ接続する]を選択し
[次へ]をクリックしてください。

次項へ

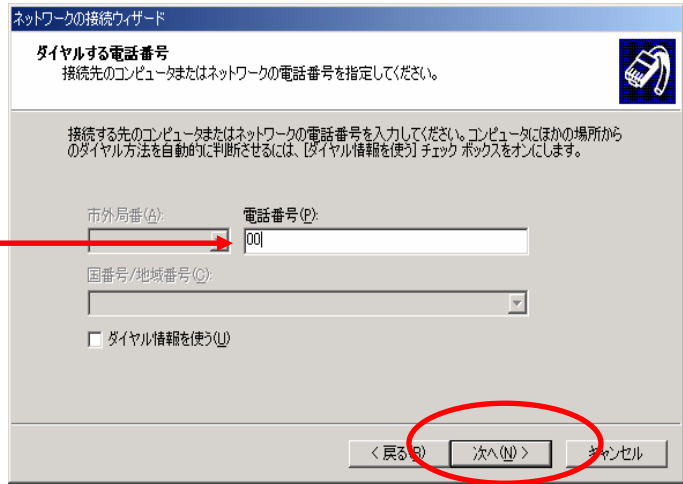


接続に使用するデバイスを選択し
[次へ]をクリックしてください。



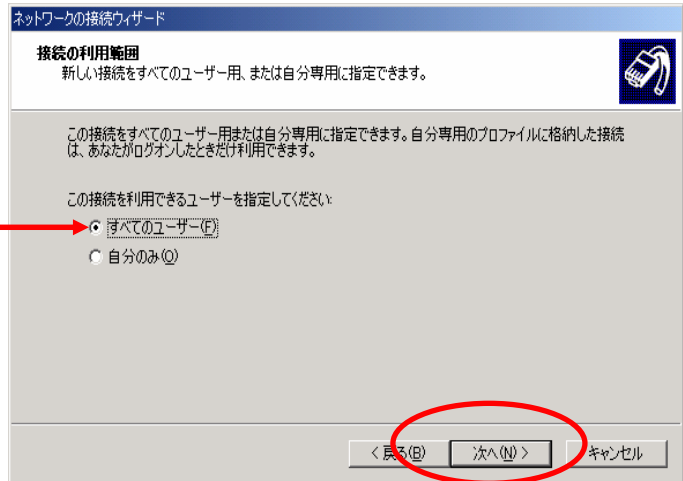
接続先の電話番号を入力し
[次へ]をクリックしてください。

USBネットワークをご利用の場合、
サーバパソコンの電話番号は、
USBポート:00
RS-232Cポート:02
と入力してください。

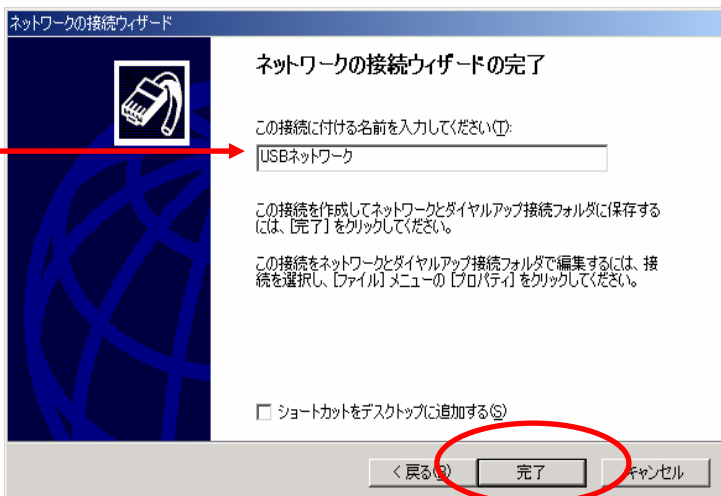


[すべてのユーザ]を選択し
[次へ]をクリックしてください。

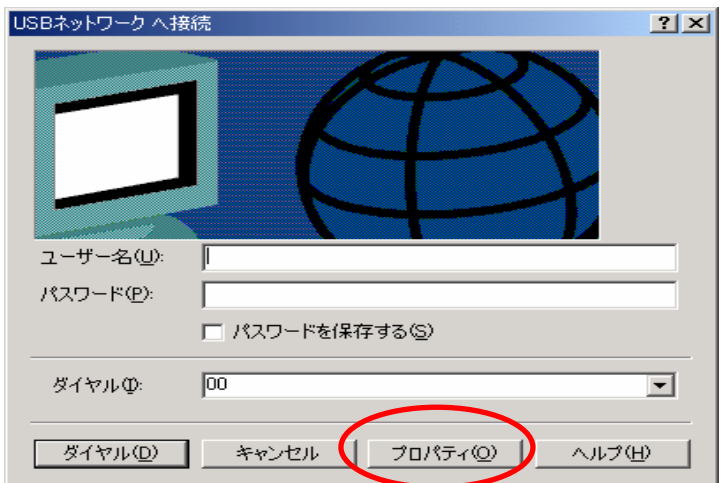
次項へ



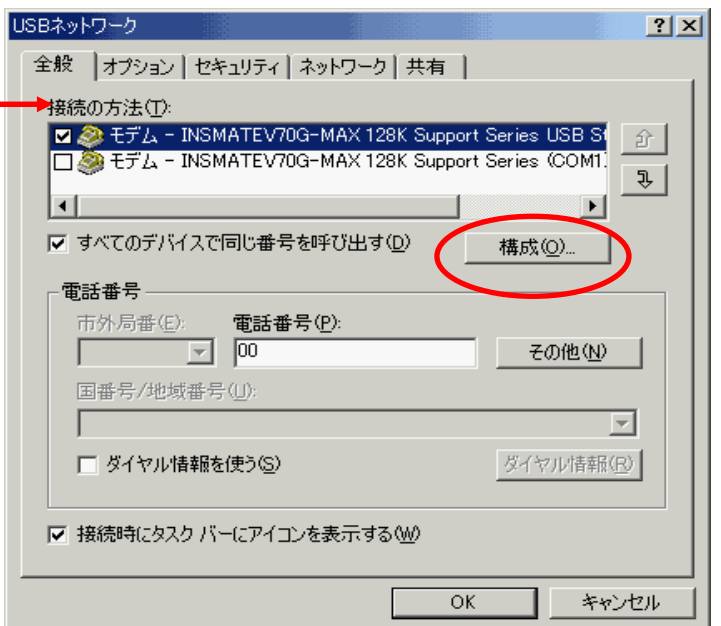
接続アイコン名を入力し
[完了]をクリックしてください。



[プロパティ]をクリックしてください。



接続に使用するモデムを選択し
[構成]をクリックしてください。



次項へ

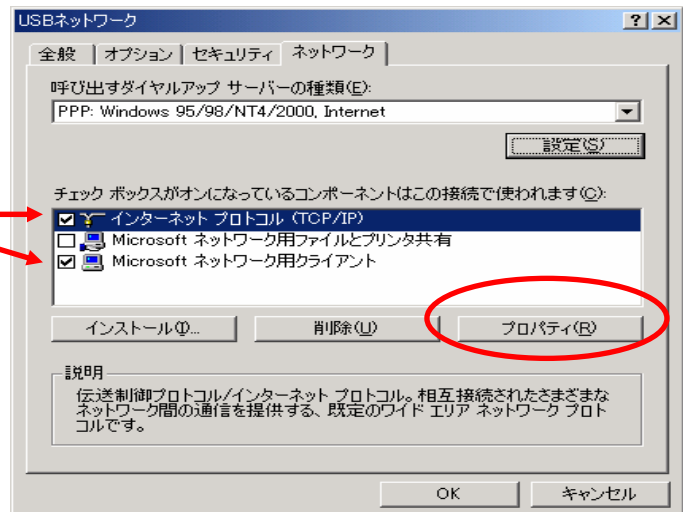
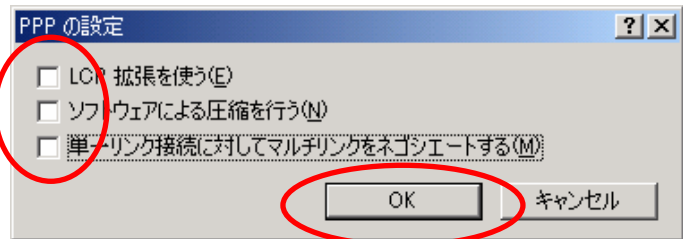
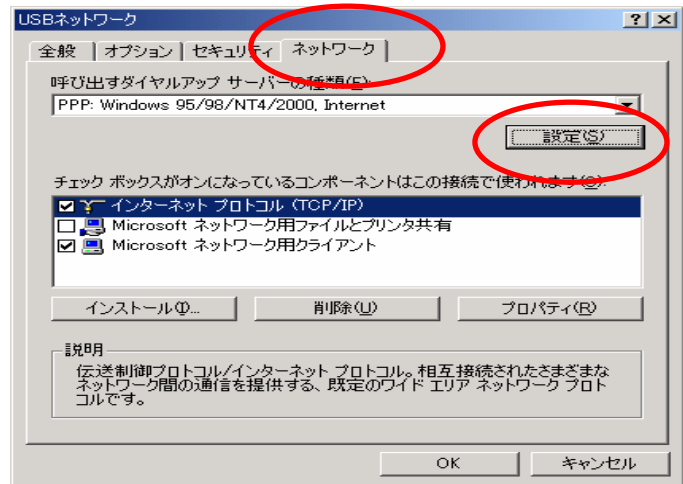
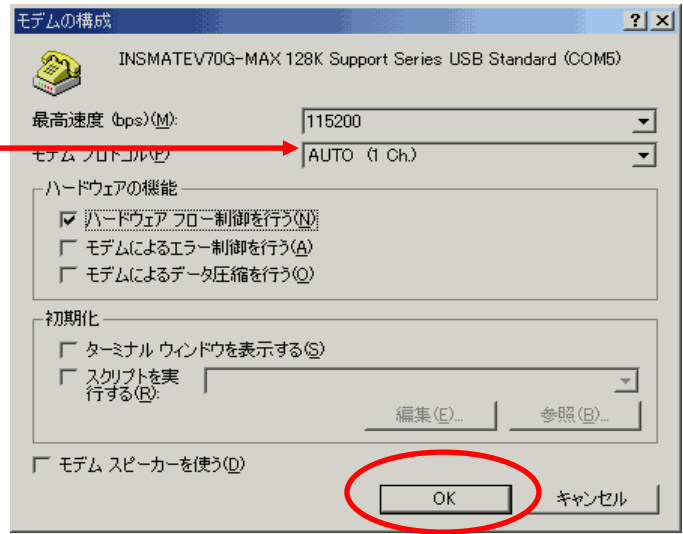
[モデムのプロトコル]を[AUTO(1Ch)]に設定し
[OK]をクリックしてください。
128Kで接続したい場合は[PPP(128K)]を
設定してください。

[ネットワーク]をクリックし
[設定]をクリックしてください。

全てのチェックをはずし
[OK]をクリックしてください。

[インターネットプロトコル(TCP/IP)]と
[Microsoftネットワーク用クライアント]に
チェックし[インターネットプロトコル(TCP/IP)]
を選択し[プロパティ]をクリックしてください。

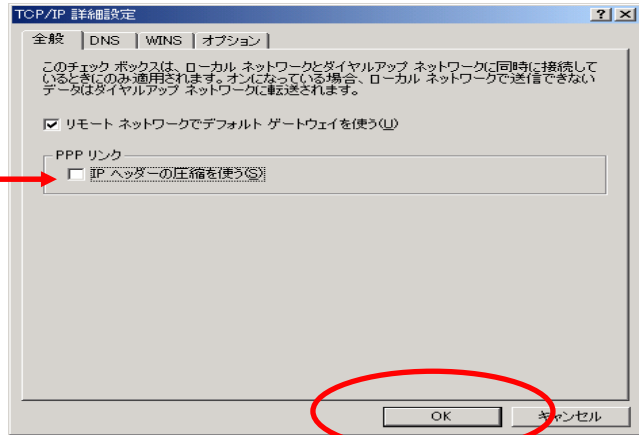
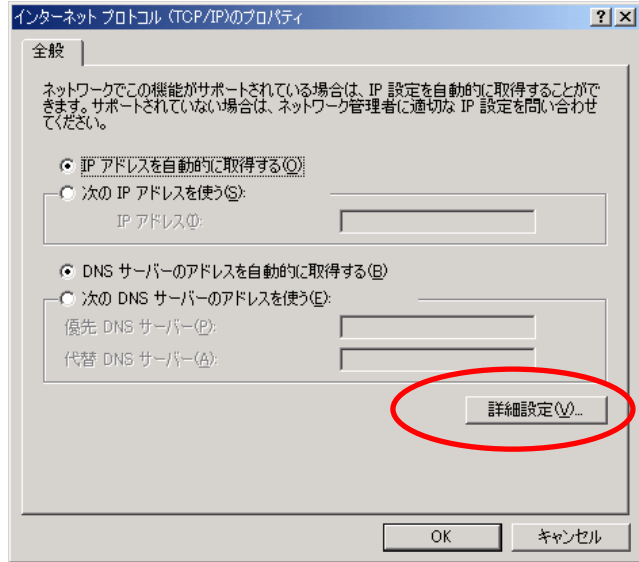
次項へ



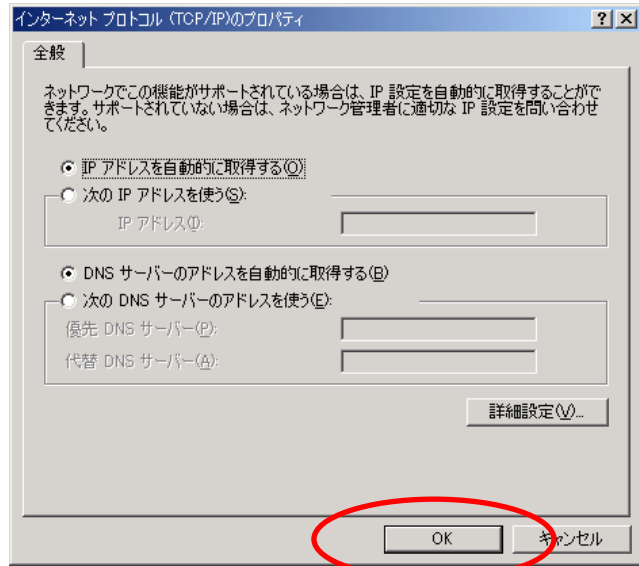
[詳細設定]をクリックしてください。

[IPヘッダ圧縮を使う]のチェックをはずし
[OK]をクリックしてください。

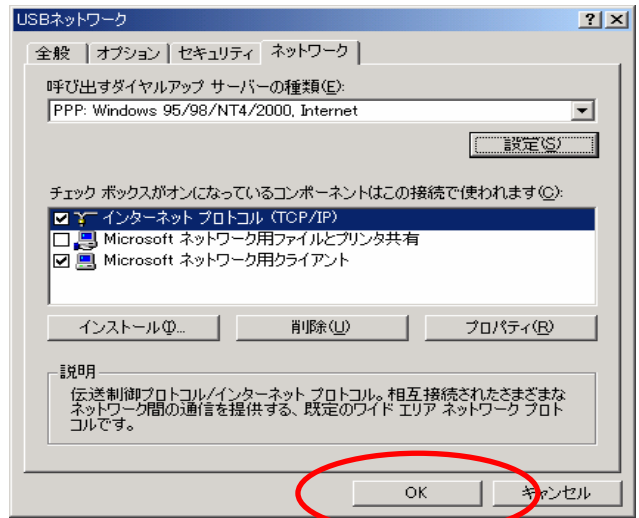
次項へ



[OK]をクリックしてください。



[OK]をクリックしてください。



これでダイヤルアップの接続先の作成は終了です。

これでWindowsXPサーバの場合のWindows2000クライアントの設定を終了します。

1.4 クライアントの設定(WindowsMe、Windows98、Windows98SE)

1.4.1 ワークグループ名の設定

[スタート] - [設定] - [コントロールパネル]をクリックし[ネットワーク]をダブルクリックしてください。

[識別情報]をクリックしてください。

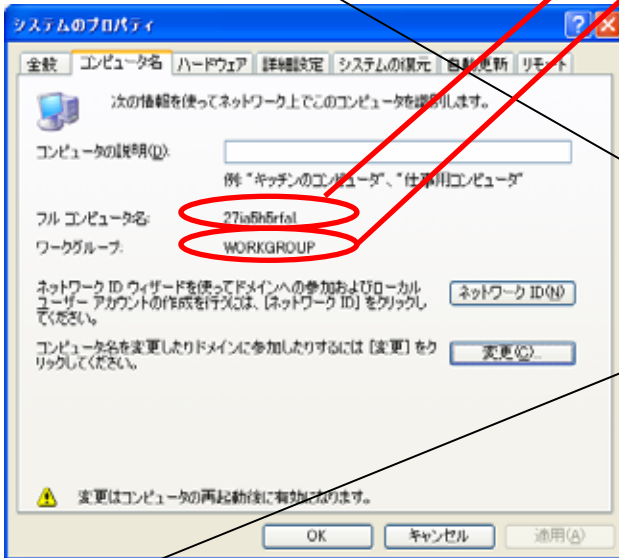
[コンピュータ名]はサーバと違う名前を入力してください。

[ワークグループ]名はサーバと同じ名前にしてください。

違う名前

同じ名前

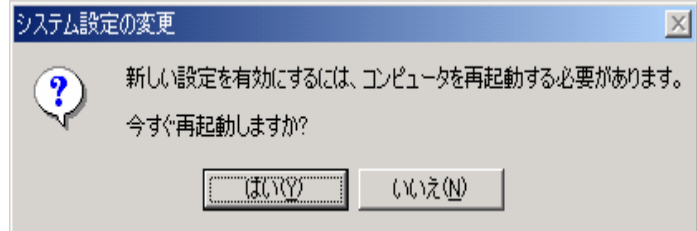
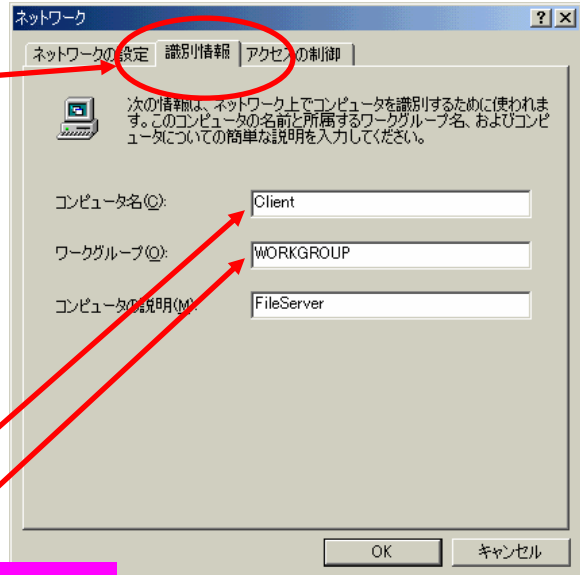
サーバの画面



[OK]をクリックしてください。

[はい]をクリックし再起動してください。

これでワークグループ名の設定は終了です。



1.4.2 ダイアルアップの接続先を作成する

[スタート] - [設定] - [コントロールパネル] - [ダイアルアップネットワーク]をクリックしてください。

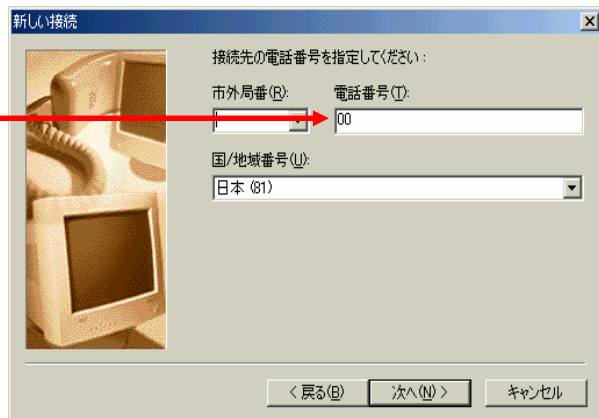
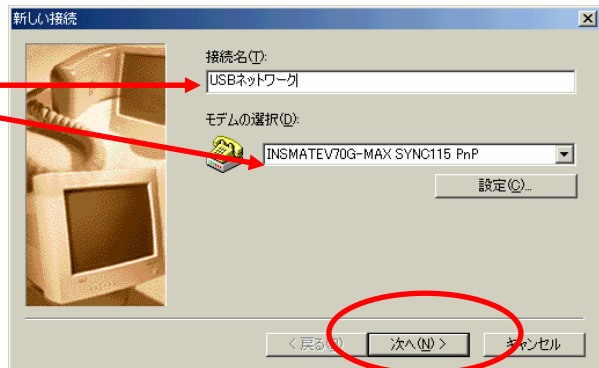
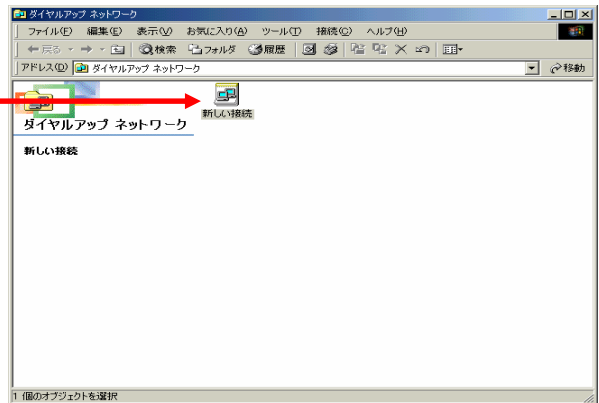
[新しい接続]をダブルクリックしてください。

[接続名]を入力しモデムを選択し
[次へ]をクリックしてください。

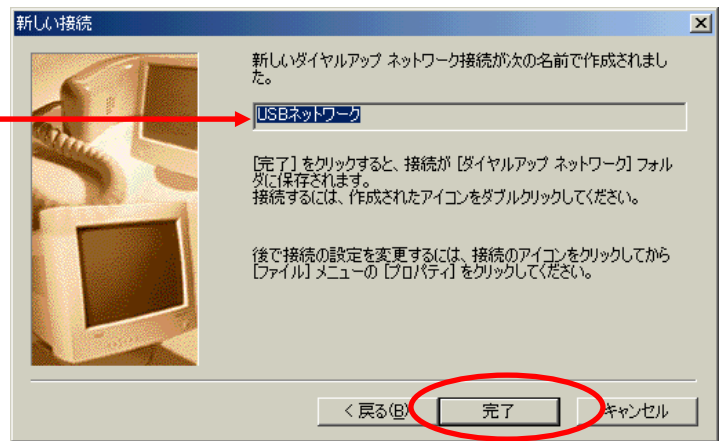
接続先の電話番号を入力し
[次へ]をクリックしてください。

USBネットワークをご利用の場合、
サーバパソコンの電話番号は、
USBポート:00
RS-232Cポート:02
と入力してください。

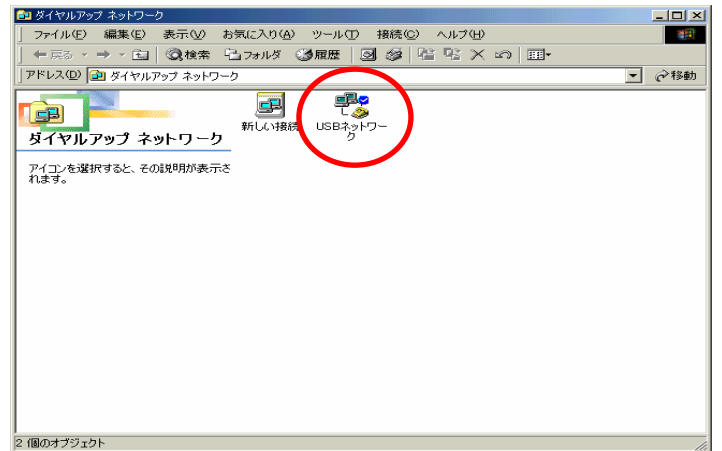
次項へ



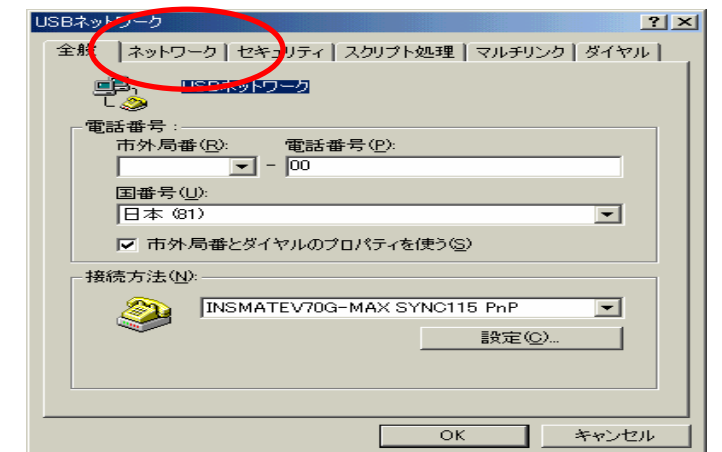
接続名を入力し
[完了]をクリックしてください。



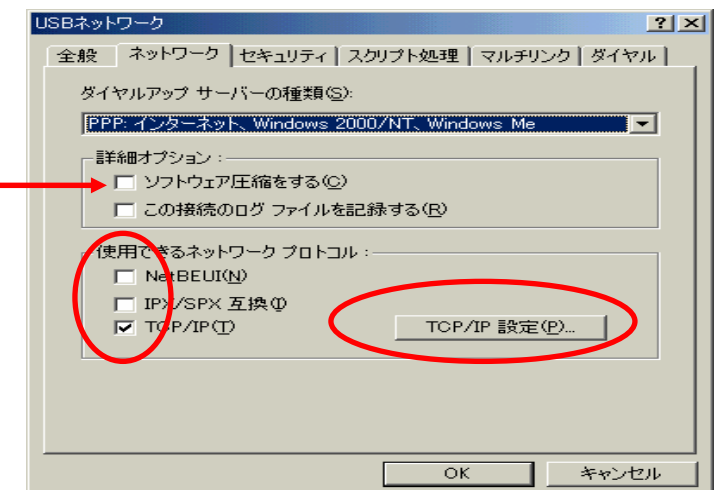
新しく作成されたアイコンにマウスをあわせて
右クリックし[プロパティ]をクリックしてください。



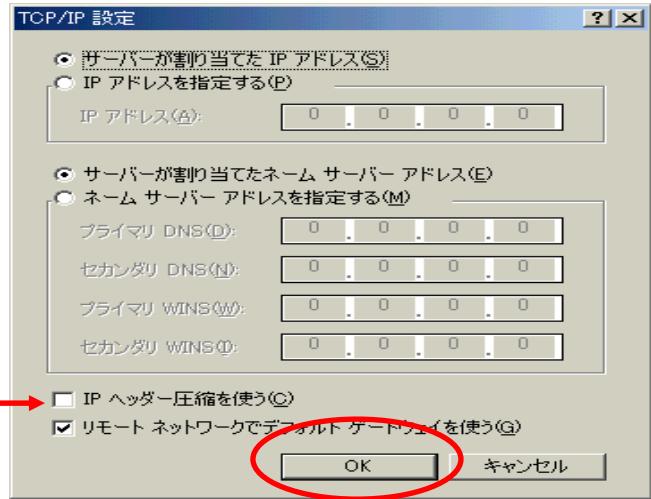
[ネットワーク]をクリックしてください。



[ソフトウェア圧縮をする]のチェックをはずし
[TCP/IP]のみチェックし
[TCP/IP設定]をクリックしてください。



次項へ



[IPヘッダ圧縮を使う]のチェックをはずし
[OK]をクリックしてください。

これでダイヤルアップの接続先の作成は終了です。

これでWindowsXPサーバの場合の
WindowsMe、Windows98、Windows98SEクライアントの設定を終了します。

2. WindowsXPのパソコンをクライアントとして使用する場合の設定

2.1 サーバの設定(Windows2000)

2.1.1 着信接続アイコンの作成

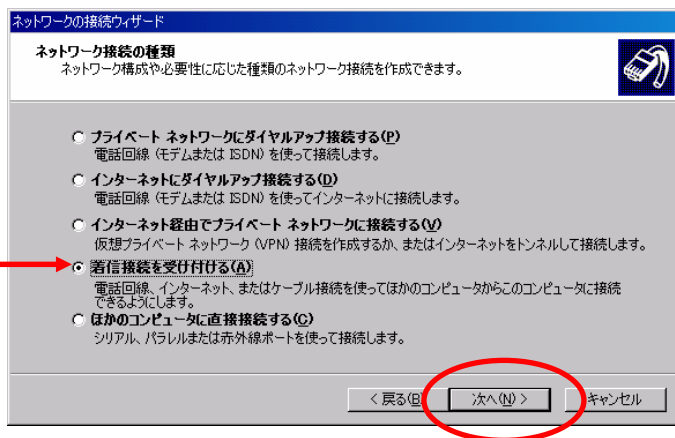
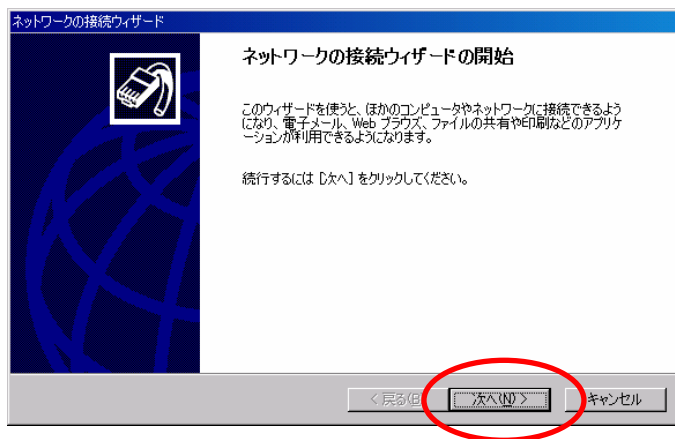
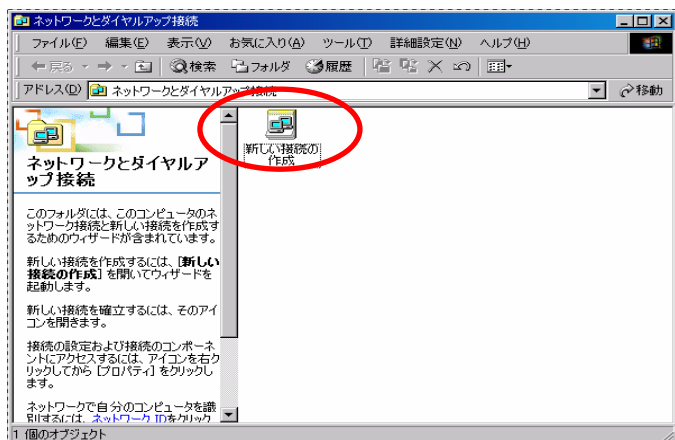
[スタート] - [設定] - [コントロールパネル] - [ネットワークとダイヤルアップ接続]をクリックしてください。

[新しい接続の作成]をダブルクリックしてください。

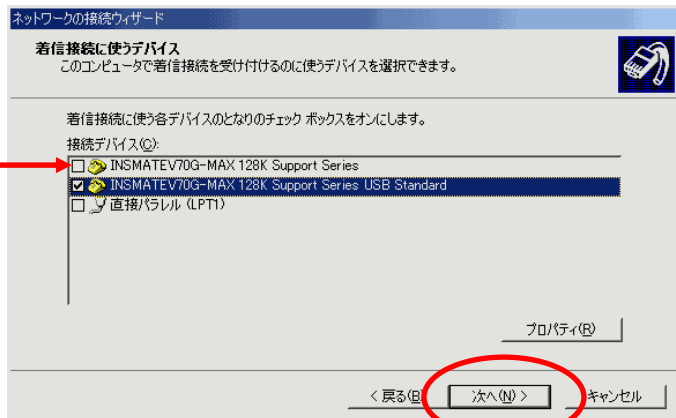
[次へ]をクリックしてください。

[着信接続を受け付ける]を選択し
[次へ]をクリックしてください。

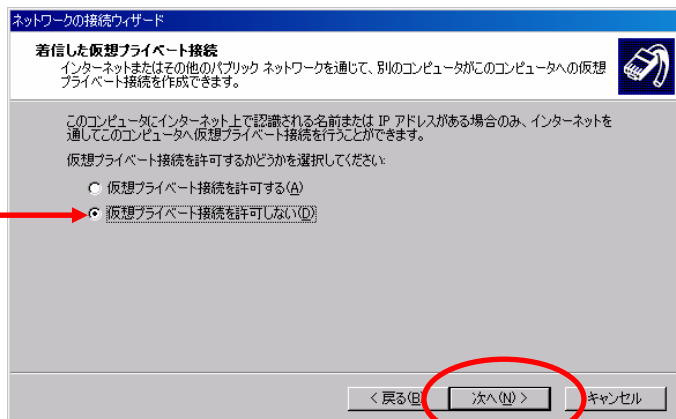
次項へ



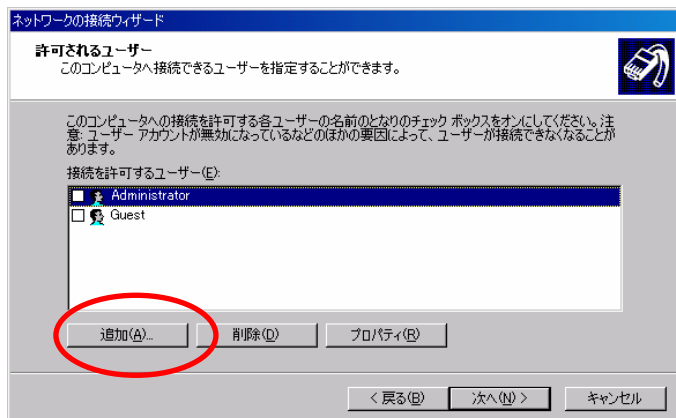
[着信接続に使うデバイス]を選択し
[次へ]をクリックしてください。



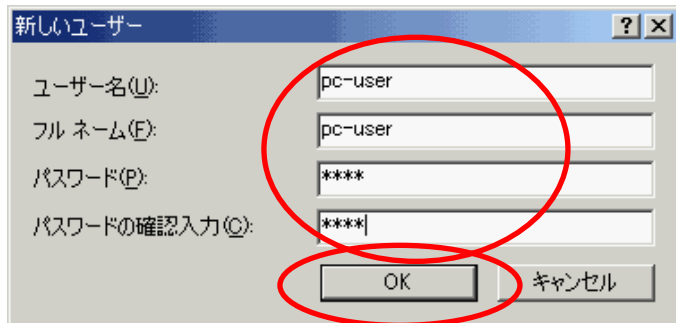
[仮想プライベート接続を許可しない]を選択し
[次へ]をクリックしてください。



[追加]をクリックしてください。

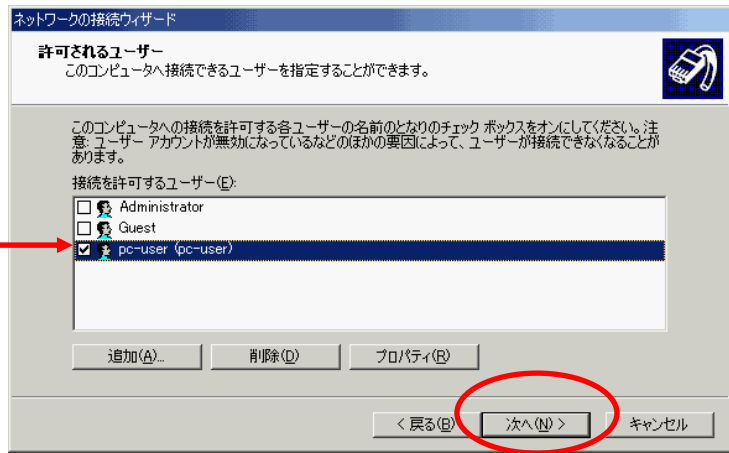


クライアントが接続するとき使用する
[ユーザー名]と[パスワード]を入力し
[OK]をクリックしてください。

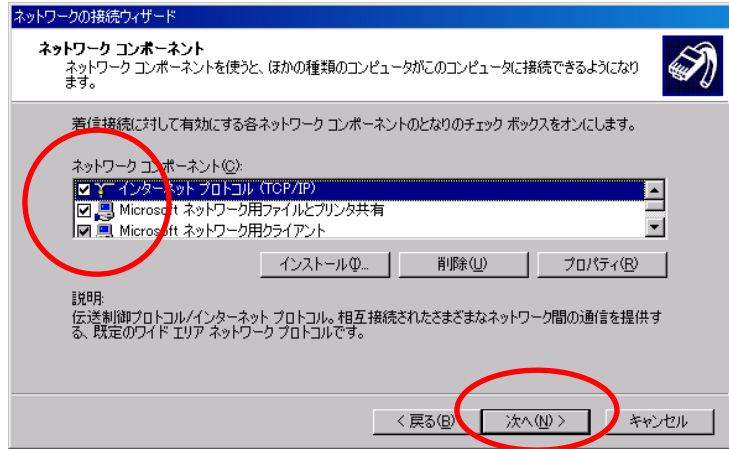


次項へ

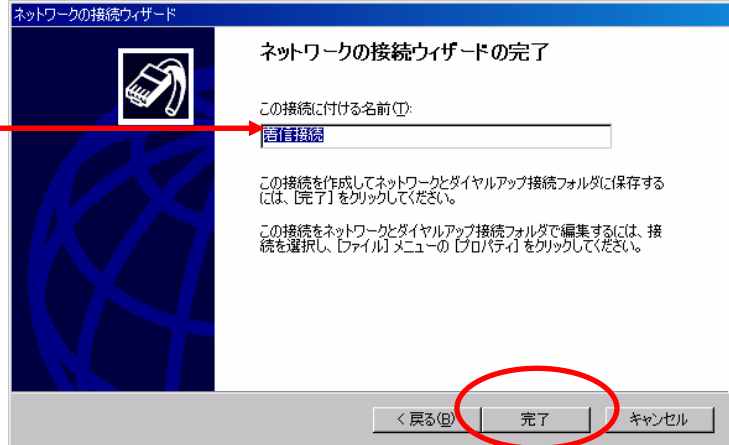
接続を許可するユーザーを選択し
[次へ]をクリックしてください。



[インターネットプロトコル(TCP/IP)]と
[Microsoftネットワーク用ファイルと
プリンタ共有]と[Microsoftネットワーク用
クライアント]にチェックし
[次へ]をクリックしてください。

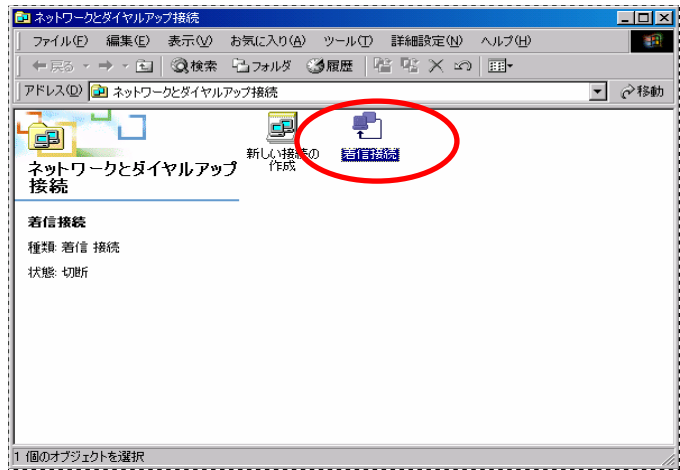


[この接続に付ける名前]を入力し
[完了]をクリックしてください。

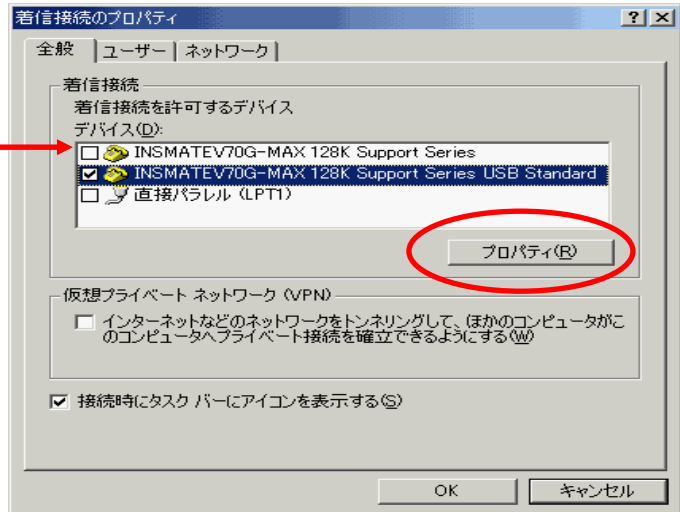


次項へ

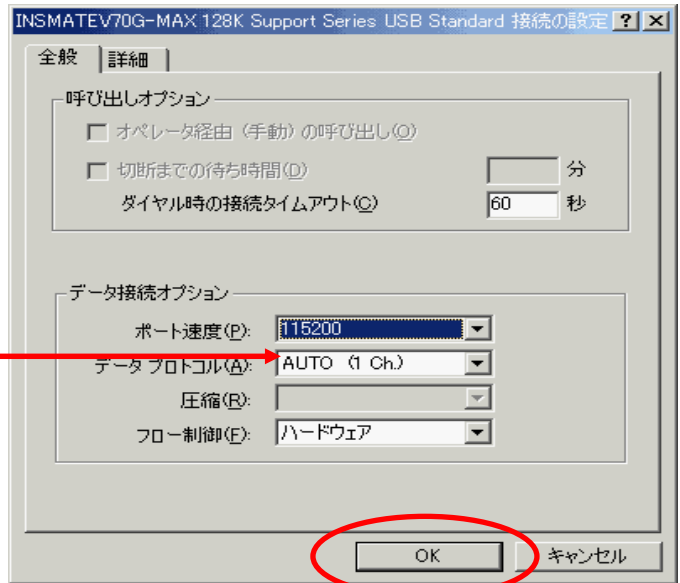
作成された[着信接続]アイコンにマウスをあわせて右クリックしプロパティをクリックしてください



着信を許可するデバイスを選択し[プロパティ]をクリックしてください。



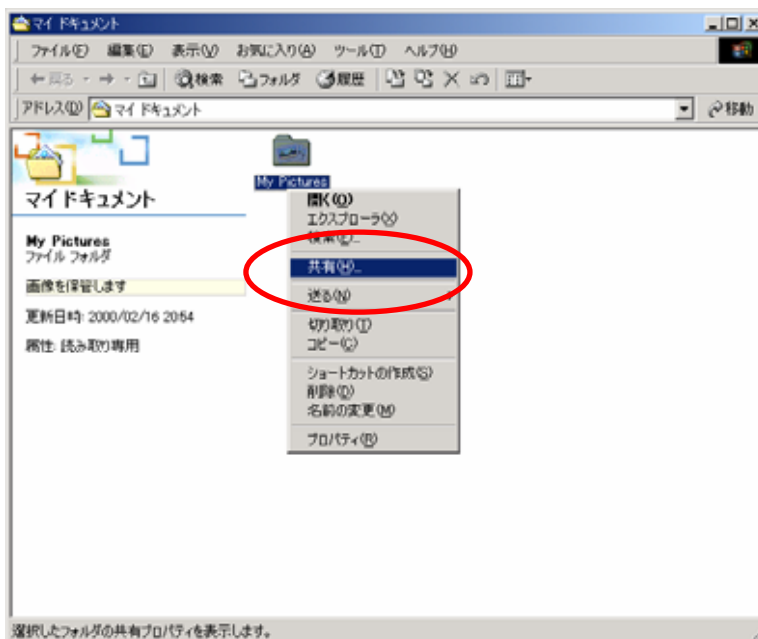
データプロトコルをAUTO(1Ch)に設定し[OK]をクリックしてください。128Kで接続する場合はPPP(128K)に設定してください



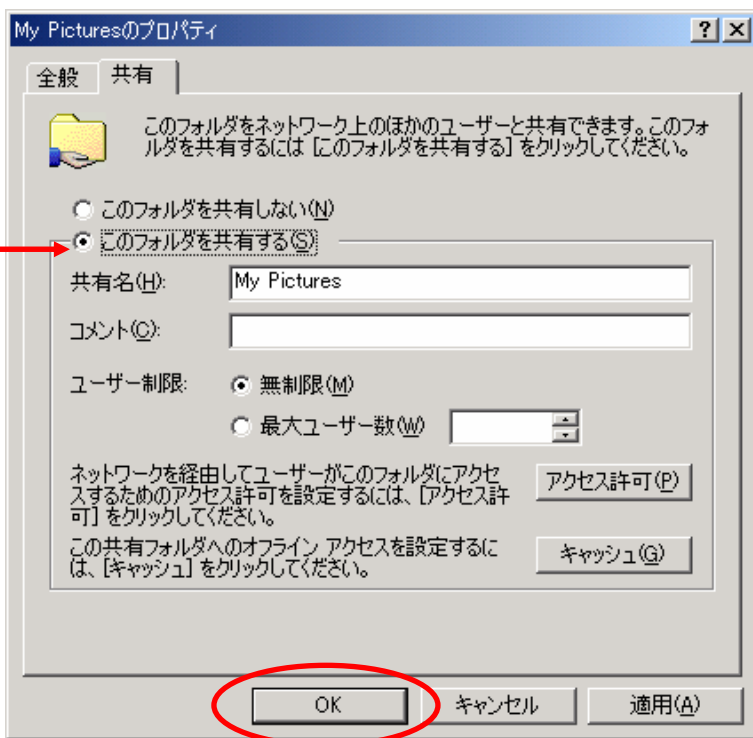
これで着信接続アイコンの作成は終了です。

2.1.2 ファイル共有の設定

共有させたいフォルダにマウスをあわせて
右クリックし[共有]をクリックしてください。



[このフォルダを共有する]を選択し
[OK]をクリックしてください。



これでファイル共有の設定は終了です。

これでWindowsXPクライアントの場合のWindows2000サーバーの設定を終了します。

2.2 サーバの設定(WindowsMe、Windows98、Windows98SE)

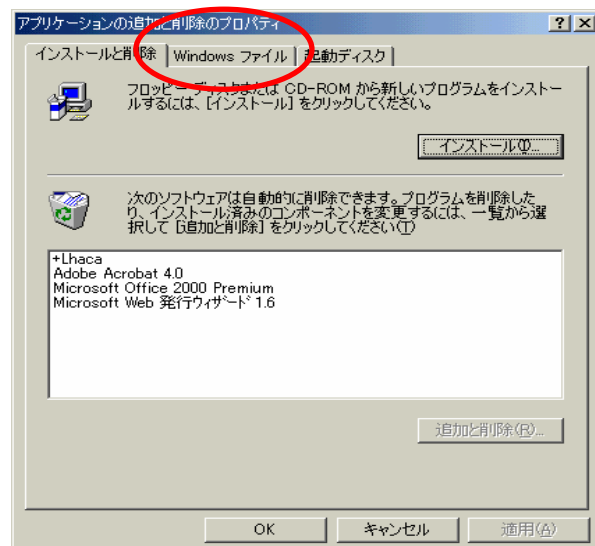
2.2.1 ダイアルアップサーバのインストール

[スタート] - [設定] - [コントロールパネル]をクリックしてください。

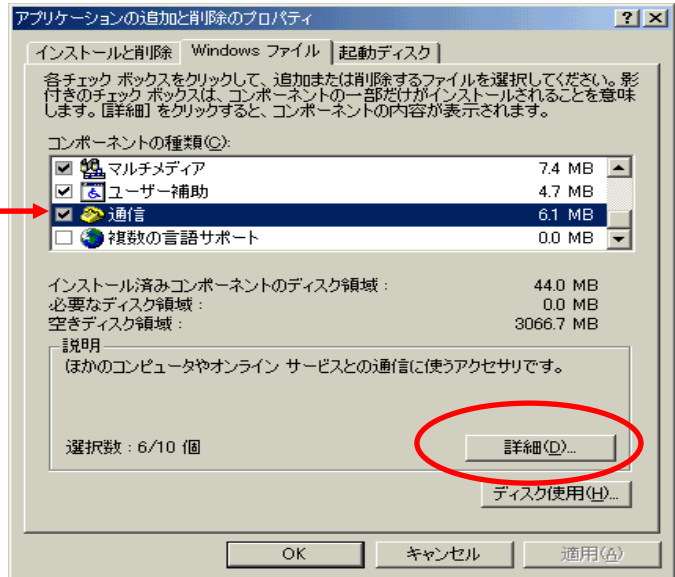
[アプリケーションの追加と削除]を
ダブルクリックしてください。

[Windowsファイル]をクリックしてください。

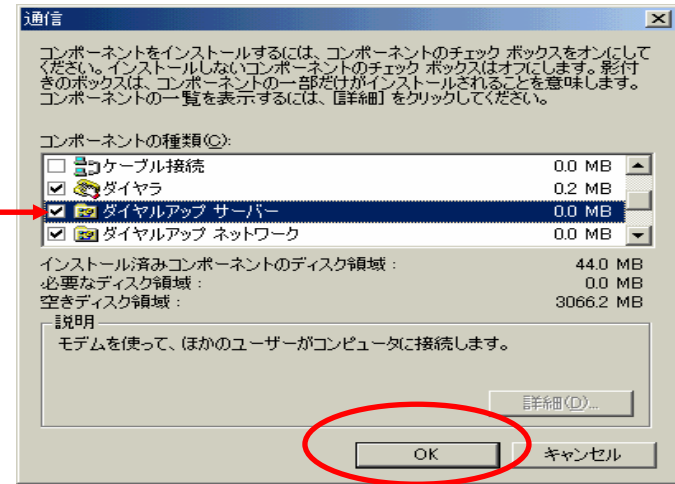
次項へ



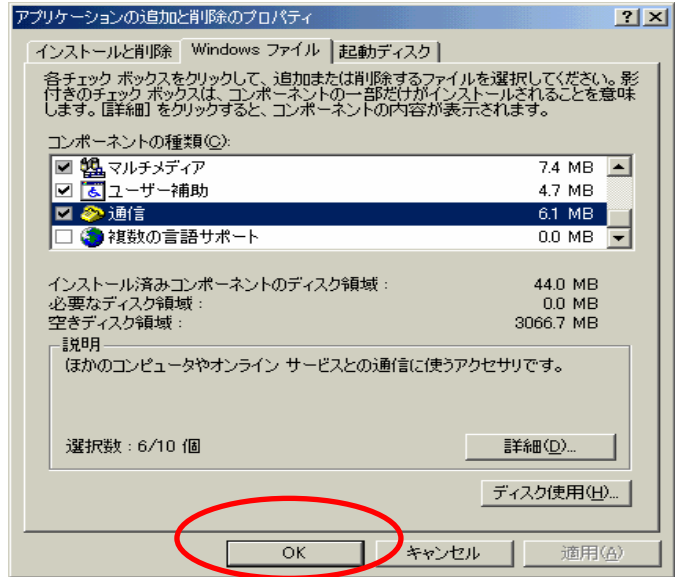
[通信]を選択し
[詳細]をクリックしてください。



[ダイヤルアップサーバー]を選択し
[OK]をクリックしてください。



[OK]をクリックしてください。



これでダイヤルアップサーバのインストールは終了です。

2.2.2 Microsoftネットワーク共有サービスのインストール

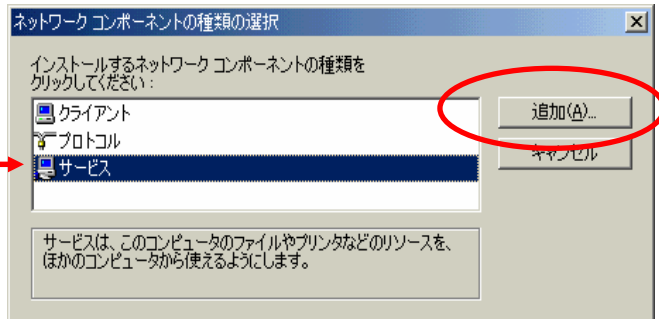
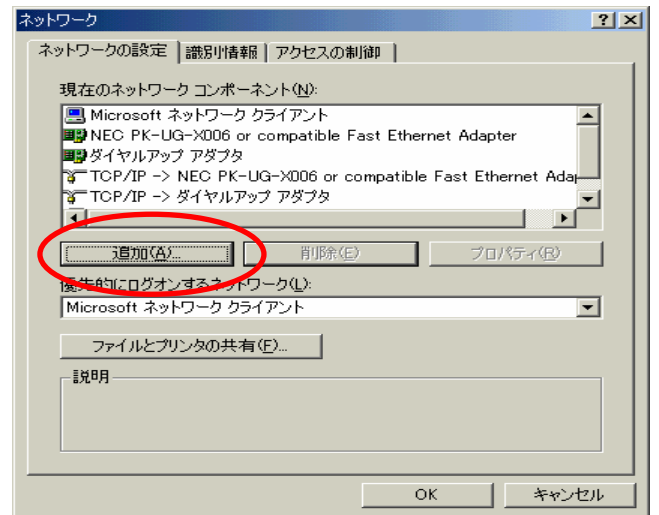
[スタート] - [設定] - [コントロールパネル]をクリックしてください。

[ネットワーク]をダブルクリックしてください。

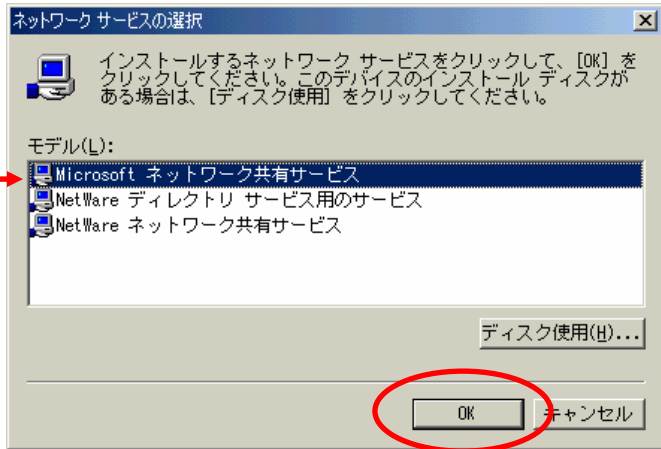
[追加]をクリックしてください。

[サービス]を選択し
[追加]をクリックしてください。

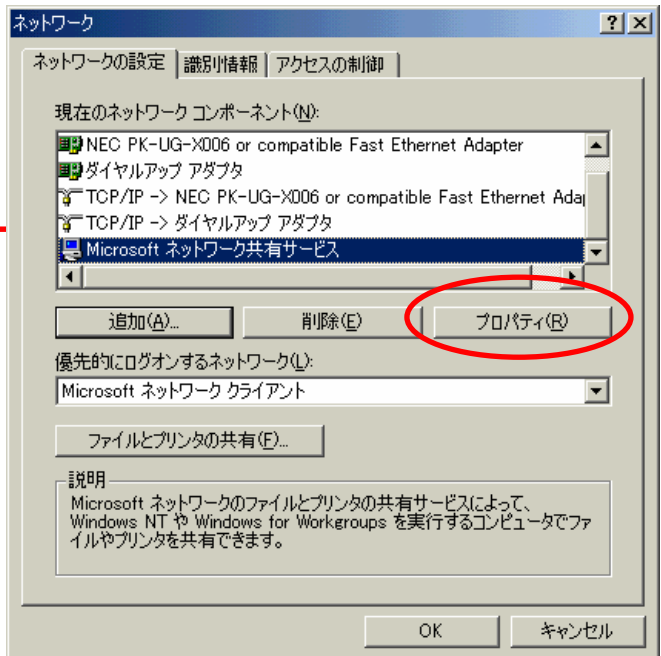
次項へ



[Microsoftネットワーク共有サービス]を選択し
[OK]をクリックしてください。

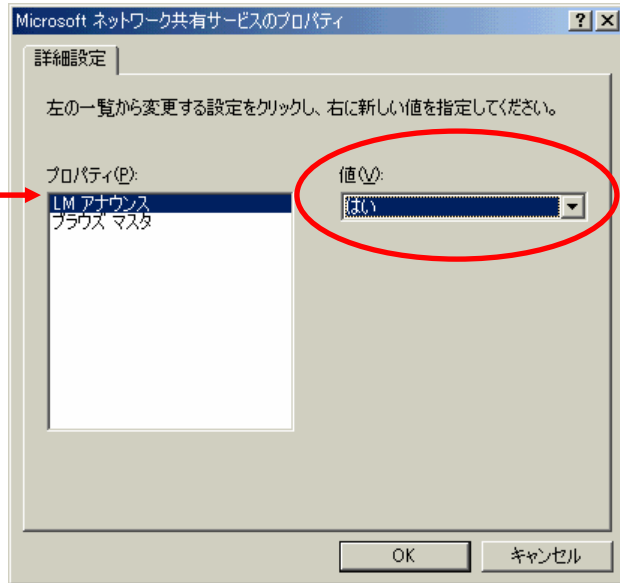


[Microsoftネットワーク共有サービス]を選択し
[プロパティ]をクリックしてください。

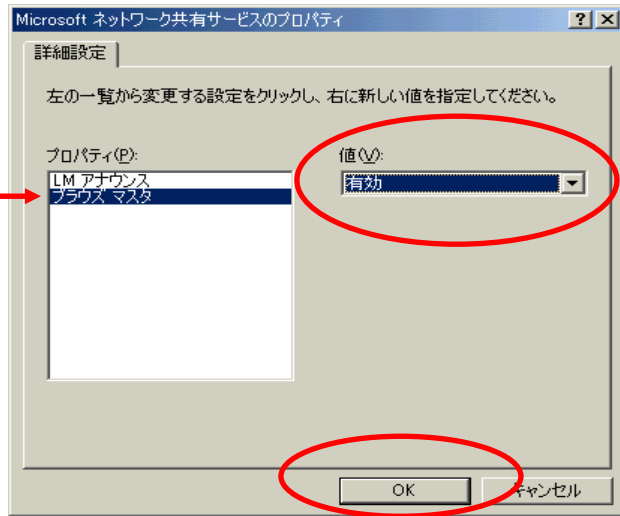


次項へ

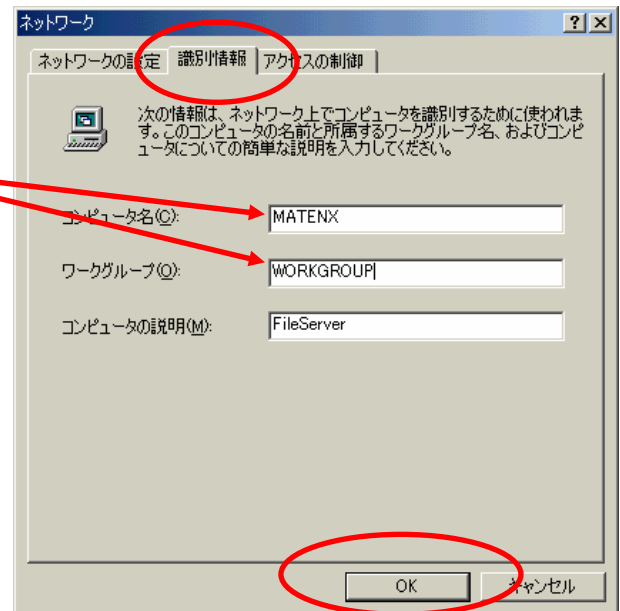
[LMアナウンス]を選択し
[はい]を選択してください。



[ブラウズマスタ]を選択し
[有効]を選択し[OK]をクリックしてください。

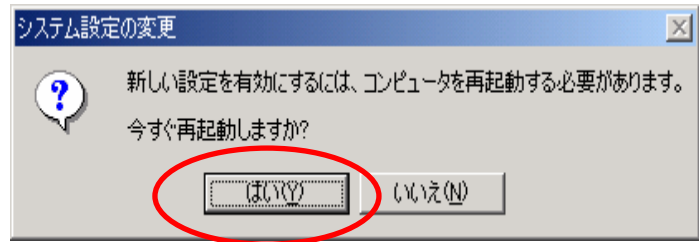


[識別情報]を選択し
[コンピュータ名]と[ワークグループ]を入力し
[OK]をクリックしてください。



次項へ

[はい]をクリックし再起動してください。

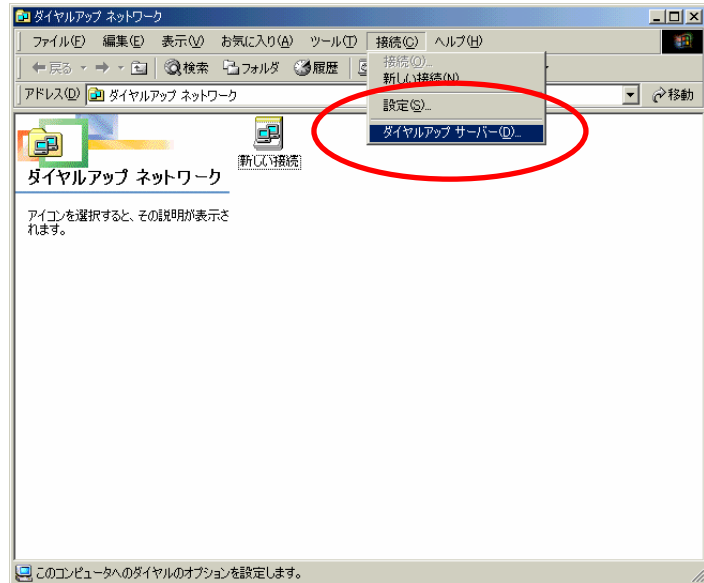


これでMicrosoftネットワーク共有サービスのインストールは終了です。

2.2.3 ダイヤルアップサーバの設定

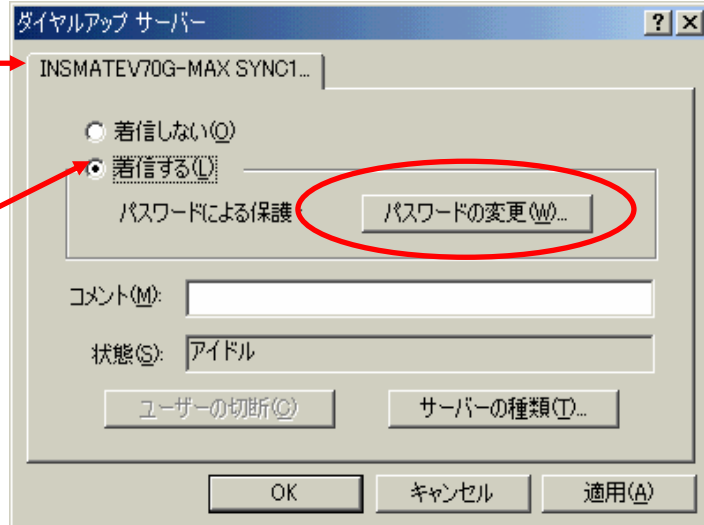
[スタート] - [設定] - [コントロールパネル] - [ダイヤルアップネットワーク]をクリックしてください。

[接続]をクリックし
[ダイヤルアップサーバ]をクリックしてください。

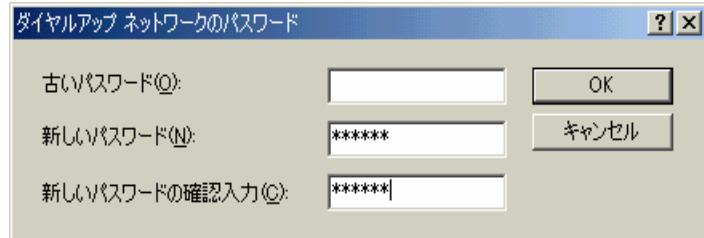


着信させたいモデムを選択してください。

[着信する]を選択し
[パスワードの変更]をクリックしてください。



クライアントが接続するとき使用する
パスワードを入力し[OK]をクリックしてください。



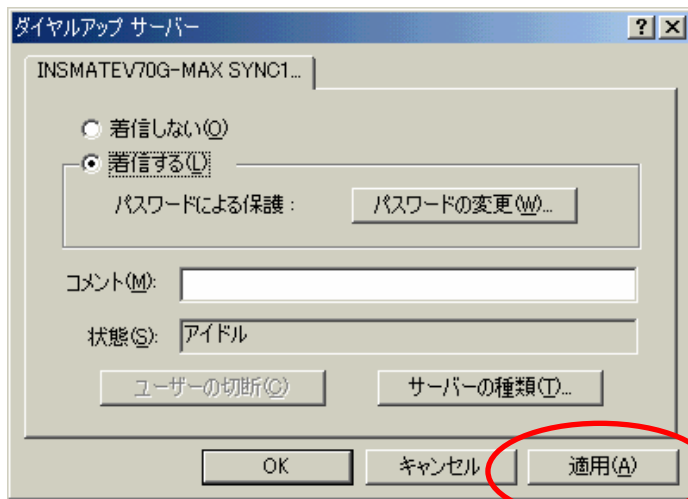
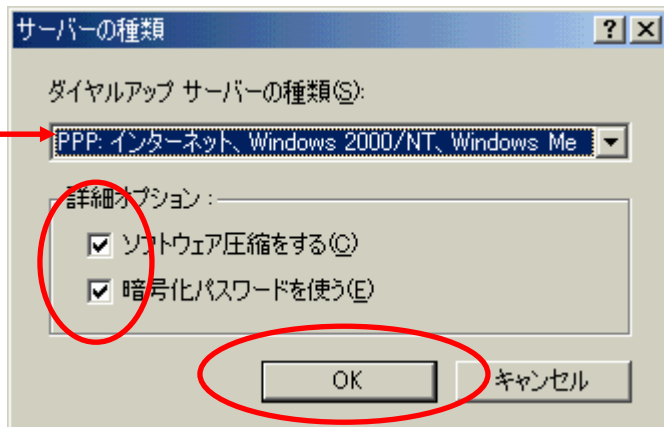
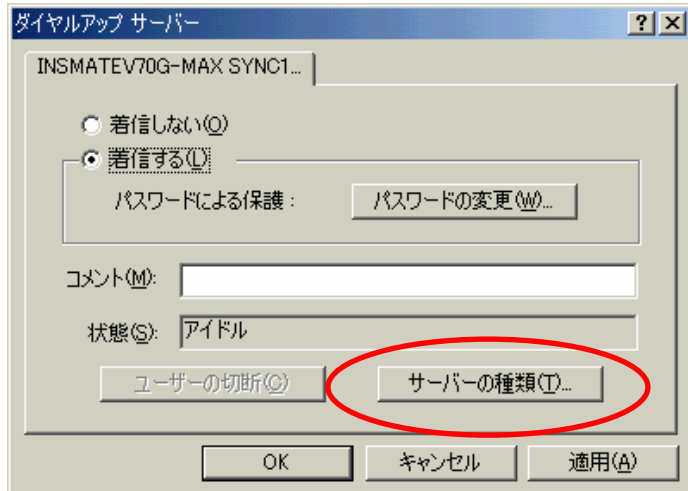
次項へ

[サーバーの種類]をクリックしてください。

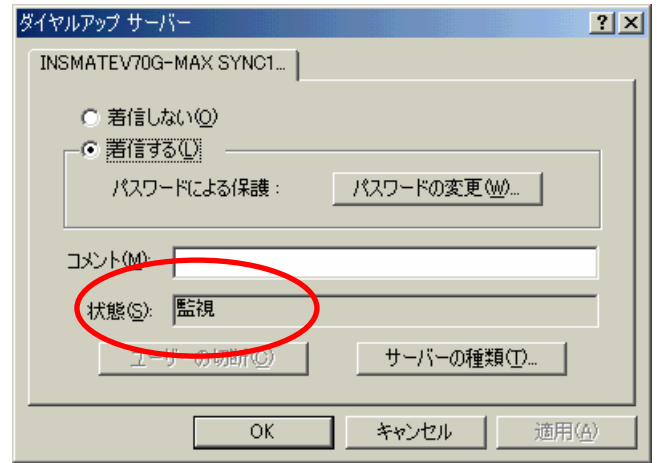
[PPP:インターネット]を選択し
全て選択し[OK]をクリックしてください。

[適用]をクリックしてください。

次項へ



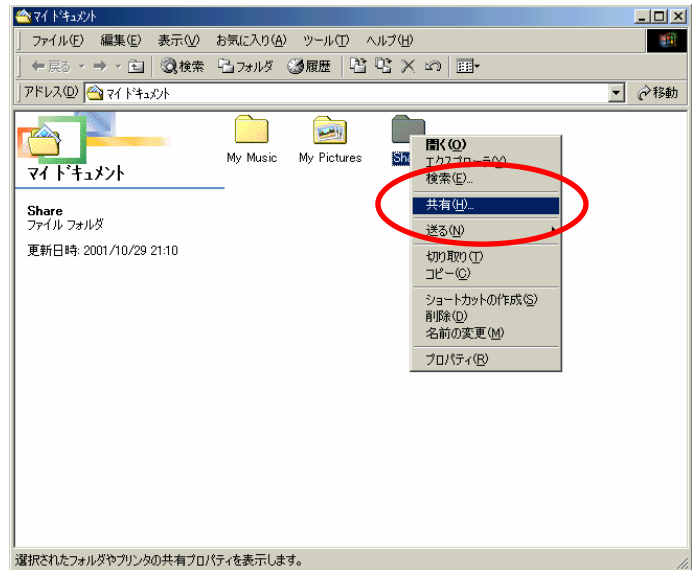
[状態]が[監視]または[監視中]となることを確認してください。



これでダイヤルアップサーバーの設定は終了です。

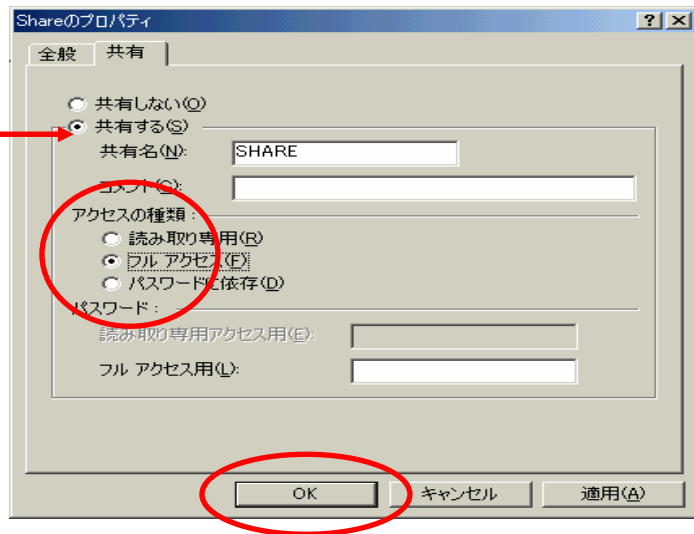
2.2.4 共有の設定

共有したいフォルダにマウスをあわせて
右クリックをして[共有]をクリックしてください。



[共有]したいフォルダにマウスをあわせて
右クリックをして[共有]をクリックしてください。

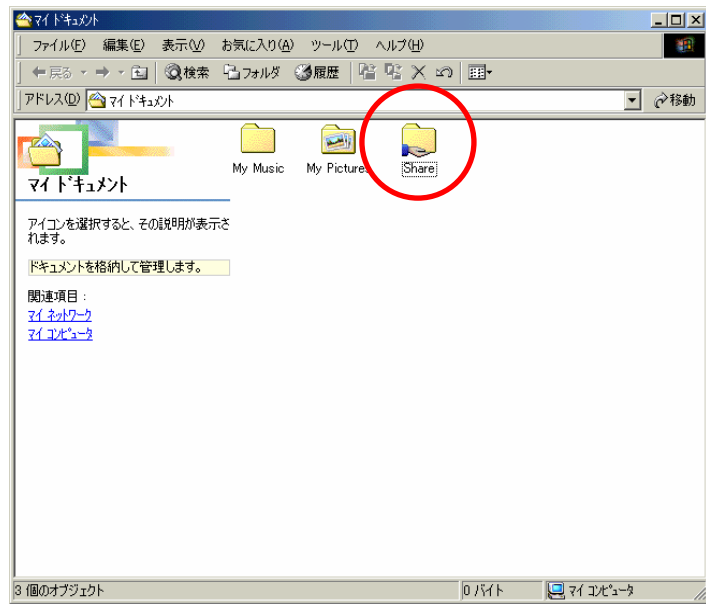
[アクセスの種類]1つを選択し
[OK]をクリックしてください。



次項へ

共有フォルダに手のマークがつきます。

これで共有の設定は終了です。



これでWindowsXPクライアントの場合の
WindowsMe、Windows98、Windows98SEサーバーの設定を終了します。

2.3 WindowsXPクライアントの設定(サーバパソコンがWindows2000の場合)

1. 「WindowsXPのパソコンをサーバとして使用する場合の設定」の
- 1.2 「クライアントの設定(WindowsXP)」を参照してください。

2.4 WindowsXPクライアントの設定(サーバパソコンがWindowsMe、Windows98、Windows98SEの場合)

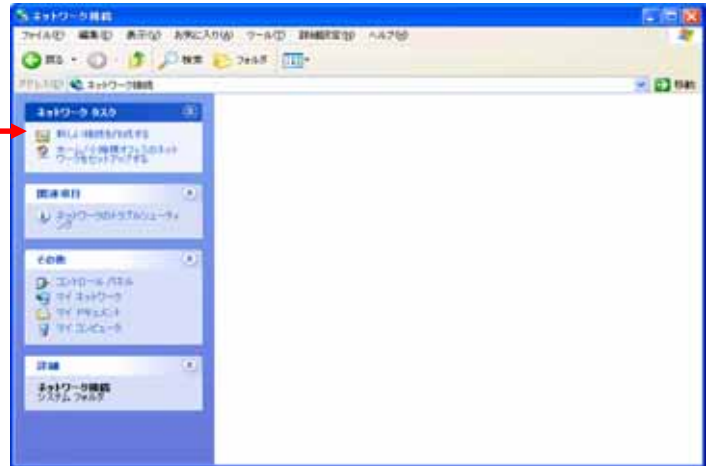
2.4.1 ワークグループ名の設定

1. 「WindowsXPのパソコンをサーバとして使用する場合の設定」の
- 1.2 「クライアントの設定(WindowsXP)」の
- 1.2.1 「ワークグループ名の設定」を参照してください。

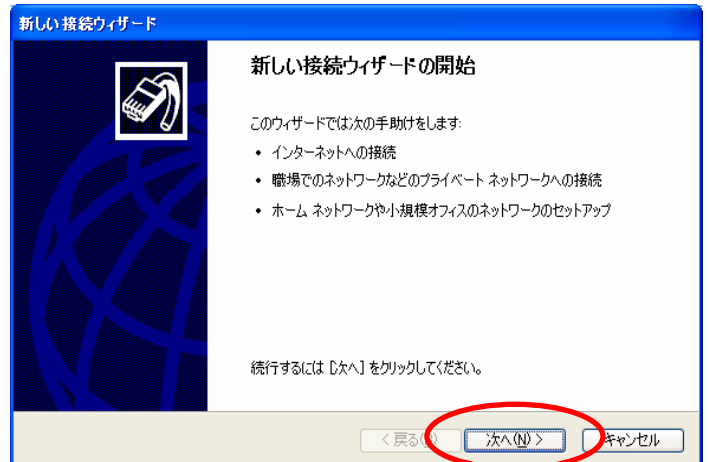
2.4.2 ダイアルアップの接続先を作成する

[スタート] - [コントロールパネル] - [ネットワークとインターネット接続]
- [ネットワーク接続]をクリックしてください。

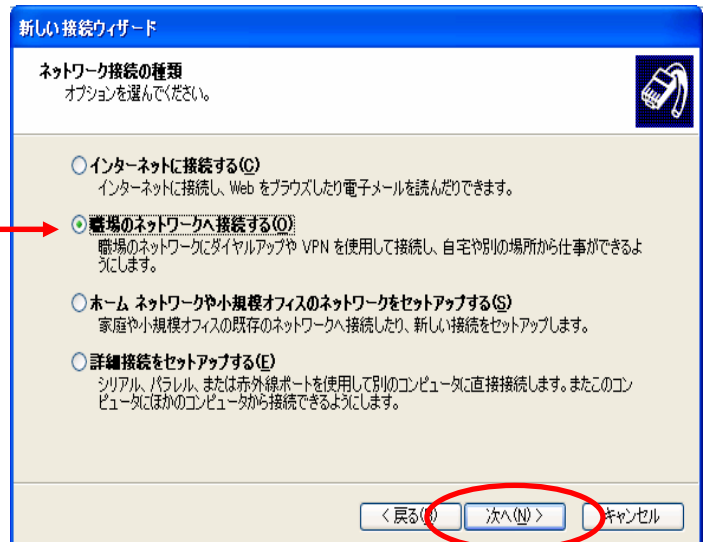
[新しい接続を作成する]
をクリックしてください。



[次へ]をクリックしてください。

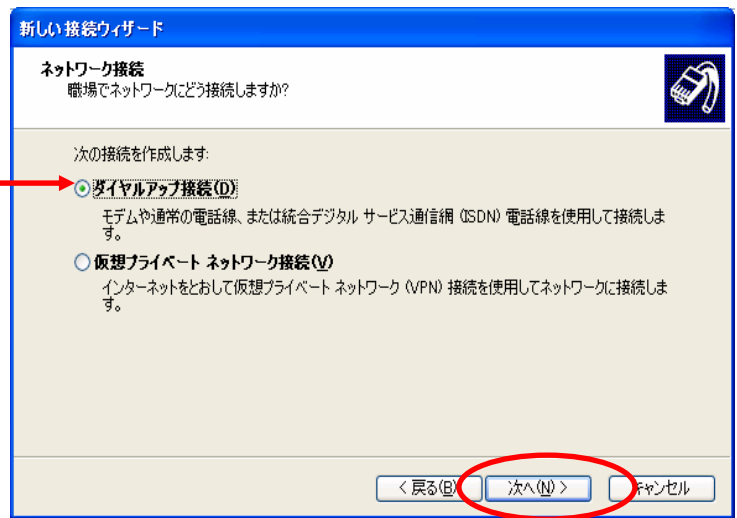


[職場のネットワークへ接続する]を選択し
[次へ]をクリックしてください。

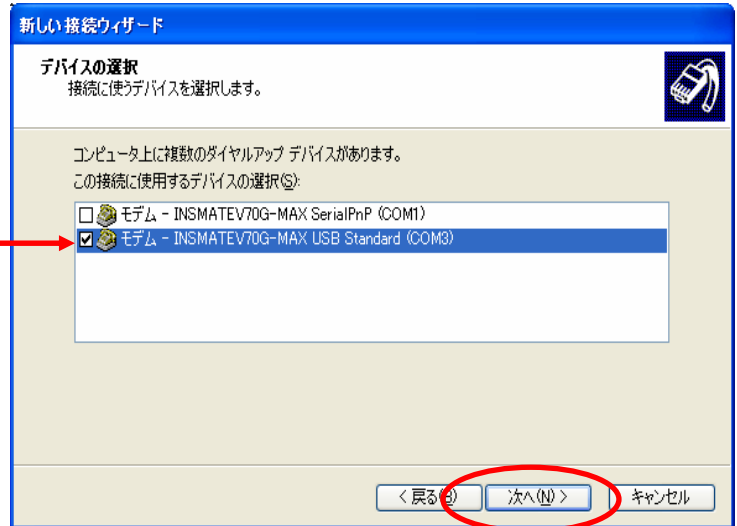


次項へ

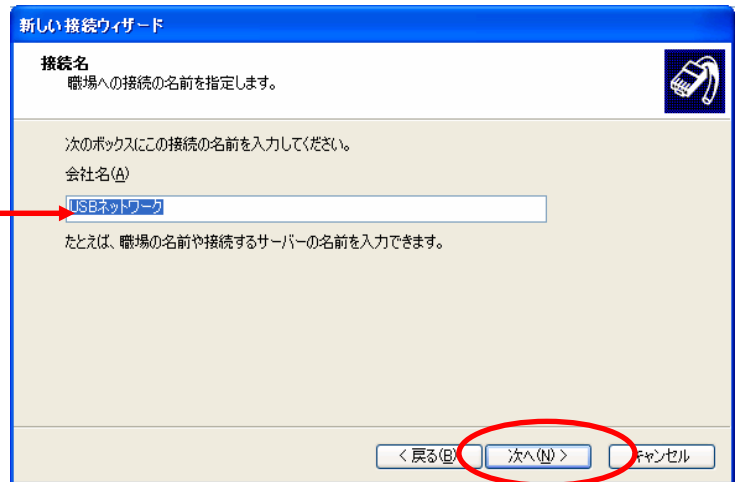
[ダイヤルアップ接続]を選択し
[次へ]をクリックしてください。



接続に使用するデバイスを選択し
[次へ]をクリックしてください。



接続の名前の入力し
[次へ]をクリックしてください。



次項へ

接続先の電話番号を入力し
[次へ]をクリックしてください。

USBネットワークでご利用の場合、
サーバパソコンの電話番号は、
USBポート:00
RS-232Cポート:02
と入力してください。

[完了]をクリックしてください。

[プロパティ]をクリックしてください。

次項へ

新しい接続ウィザード

ダイヤルする電話番号
この接続にはどの電話番号をしますか?

下に電話番号を入力してください。

電話番号(P):
00

識別番号または市外局番が必要な場合があります。よくわからないときは、電話でその電話番号にダイヤルしてください。モデムの音が聞こえる場合はダイヤルしたその番号が正解です。

< 戻る(B) 次へ(N) > キャンセル

新しい接続ウィザード

新しい接続ウィザードの完了

次の接続の作成に必要な手順は正常に完了しました。

USBネットワーク

- このコンピュータのすべてのユーザーと共有する

この接続は、[ネットワーク接続]フォルダに保存されます。

この接続へのショートカットをデスクトップに追加する(S)

接続を作成してウィザードを閉じるには、[完了]をクリックしてください。

< 戻る(B) 完了 キャンセル

USBネットワークへ接続

ユーザー名(U):
パスワード(P):

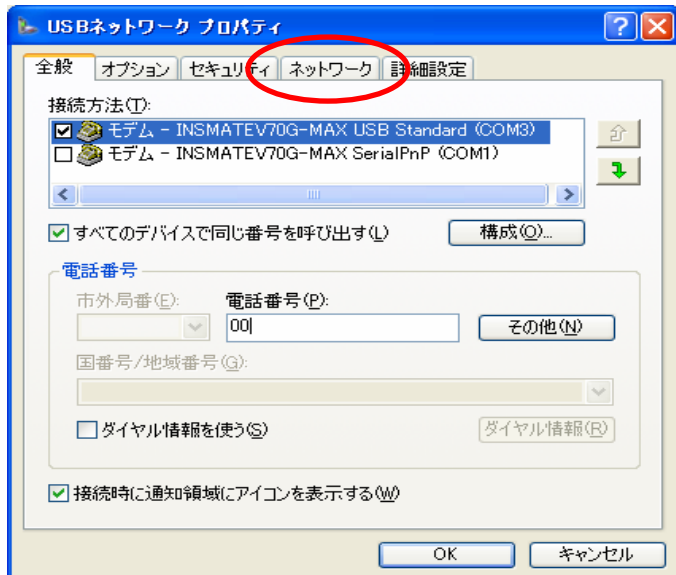
次のユーザーが接続するとき使用するために、このユーザー名とパスワードを保存する(S):

- このユーザーのみ(N)
- このコンピュータを使うすべてのユーザー(A)

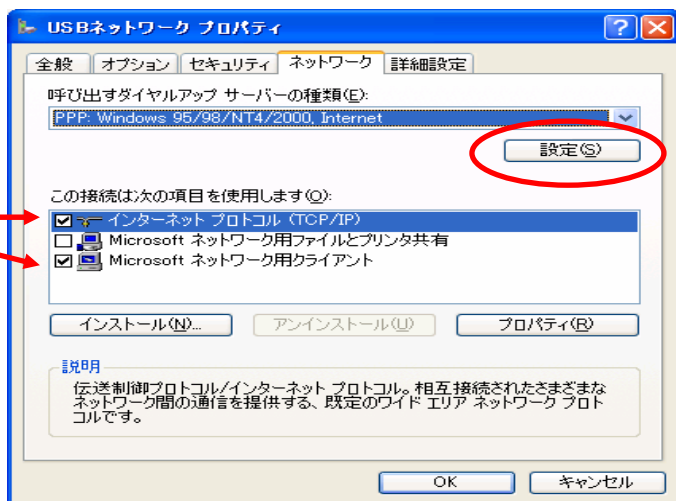
ダイヤル(D): 00

ダイヤル(D) キャンセル プロパティ(O) ヘルプ(H)

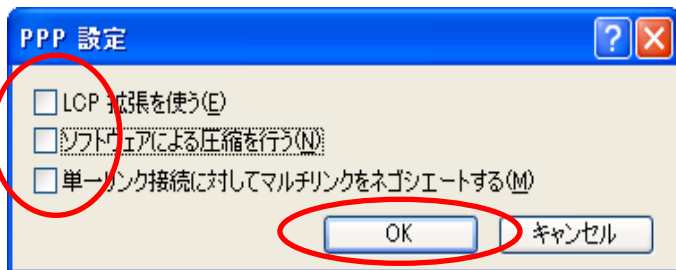
[ネットワーク]をクリックしてください。



[インターネットプロトコル(TCP/IP)]
[Microsoftネットワーク用クライアント]を
チェックして、[設定]をクリックしてください。

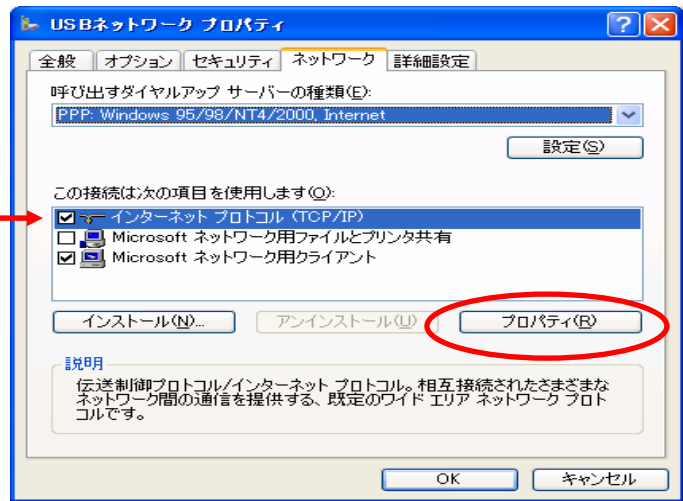


全てのチェックをはずして
[OK]をクリックしてください。

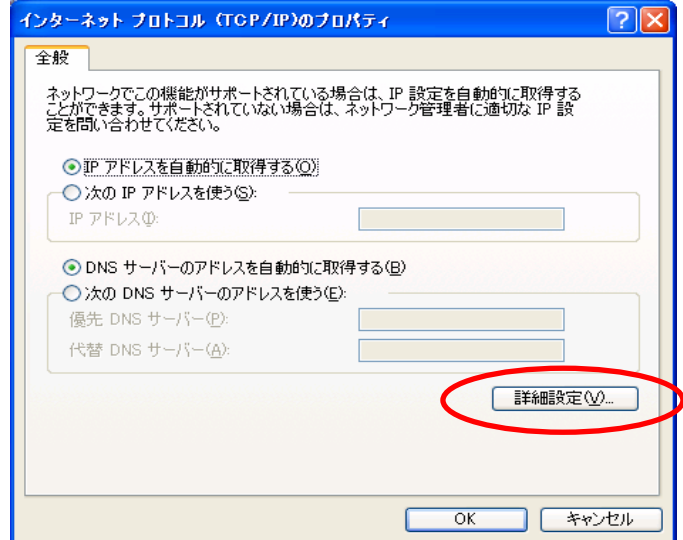


次項へ

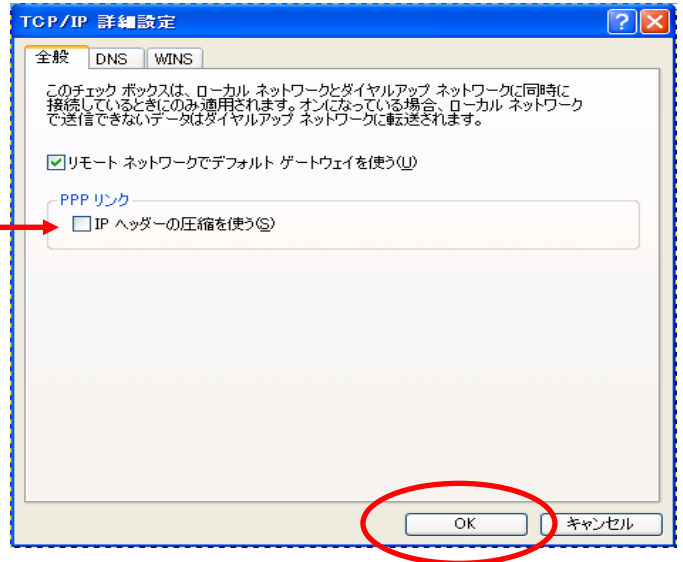
[インターネットプロトコル(TCP/IP)]を選択し
[プロパティ]をクリックしてください。



[詳細設定]をクリックしてください。



[IPヘッダー圧縮を使う]のチェックをはずし
[OK]をクリックしてください。



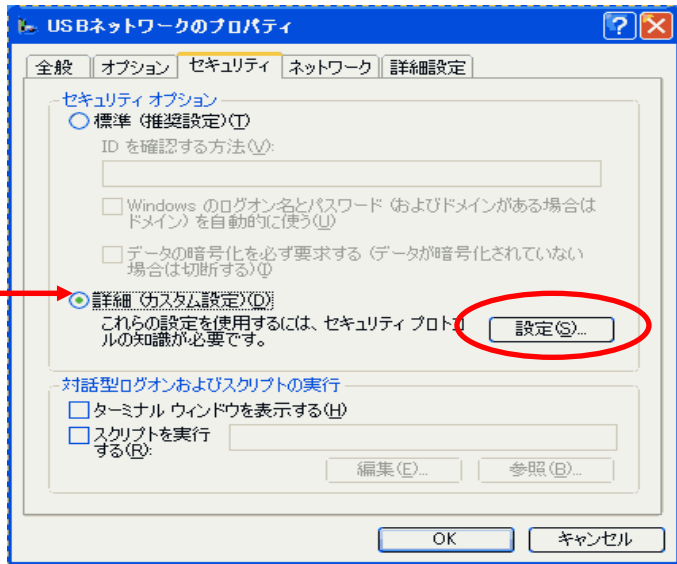
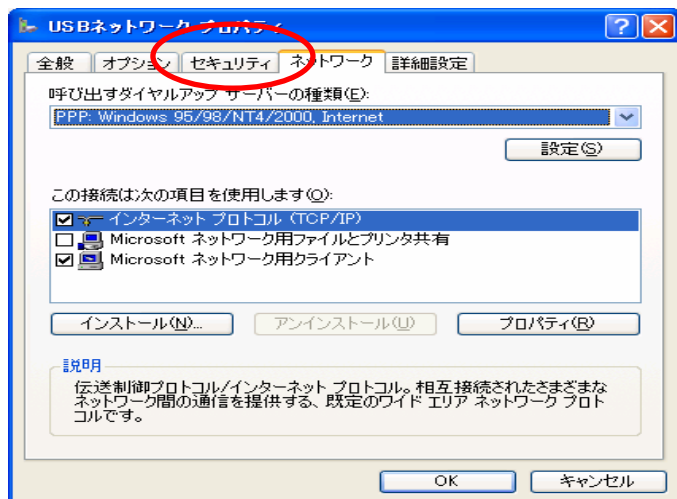
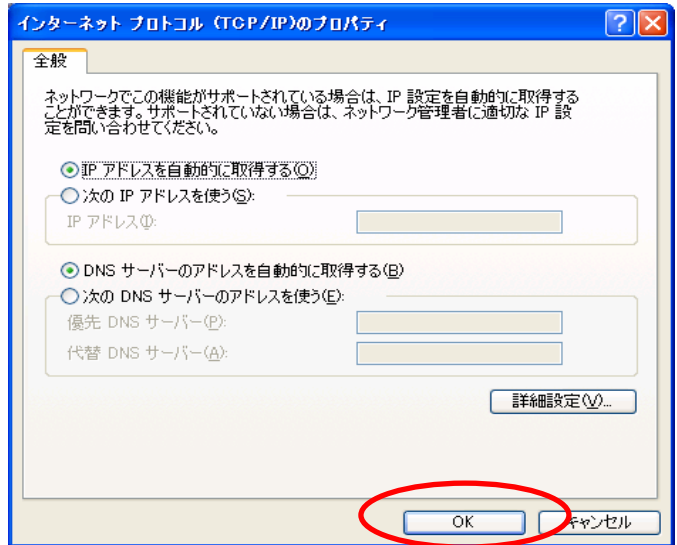
次項へ

[OK]をクリックしてください。

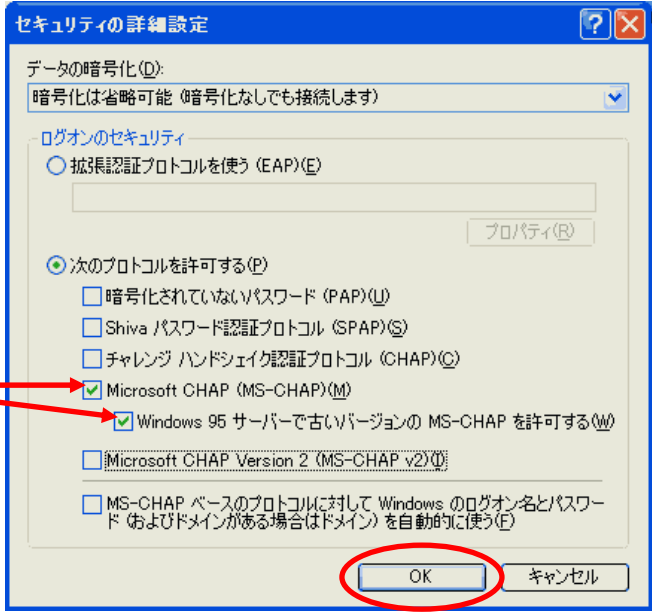
[セキュリティ]をクリックしてください。

[詳細(カスタム設定)]を選択し
[設定]をクリックしてください。

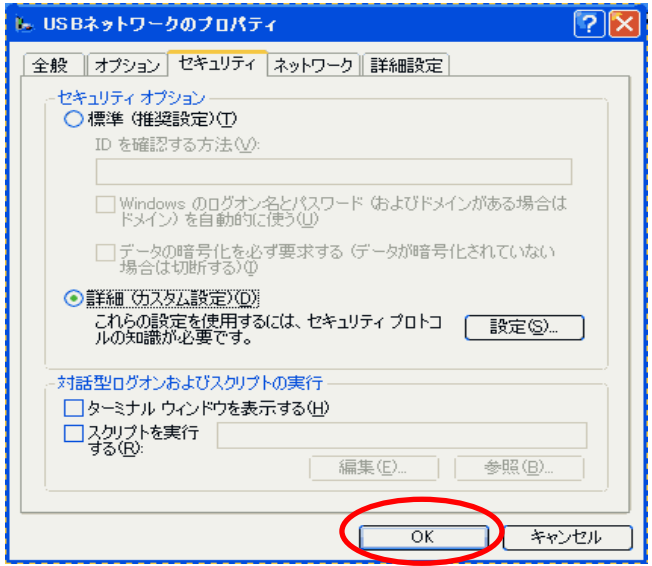
次項へ



[Microsoft CHAP (MS-CHAP)]と
[Windows95サーバで古いバージョンの
MS-CHAPを許可する]のみチェックし
その他のチェックをはずし
[OK]をクリックしてください。



[OK]をクリックしてください。



これでダイヤルアップ接続先の作成は終了です。

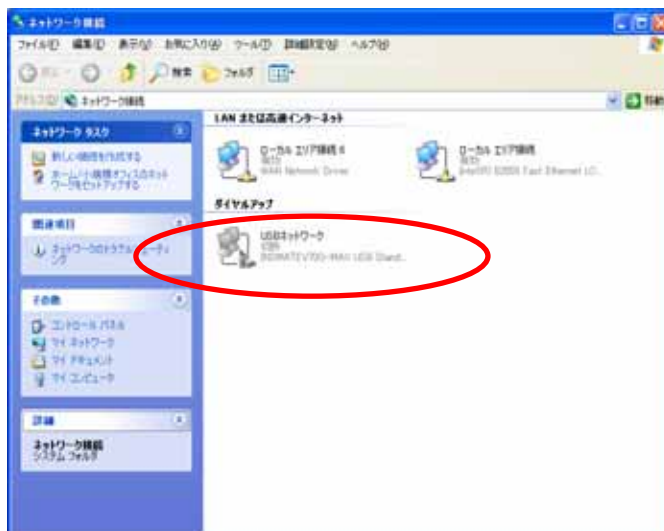
これでWindowsMe、Windows98、Windows98SEサーバの場合の
WindowsXPクライアントの設定を完了します。

3. WindowsXPのパソコンをクライアントとして接続する方法

3.1 接続方法

[スタート] - [コントロールパネル] - [ネットワークとインターネット接続] - [ネットワーク接続]をクリックしてください。

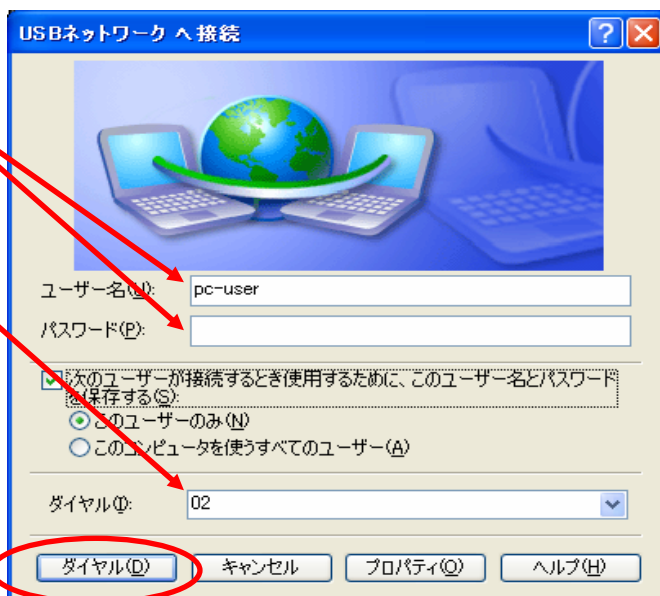
作成しダイヤルアップ接続先アイコンをダブルクリックしてください。



接続したいサーバーに登録されている [ユーザー名]と[パスワード]を入力してください。

接続したいサーバーの[ダイヤル]が正しいか確認してください。
違えば正しく入力してください。

[ダイヤル]をクリックしてください。



これで接続方法を終了します。

3.2 サーバーのパソコンを検索する

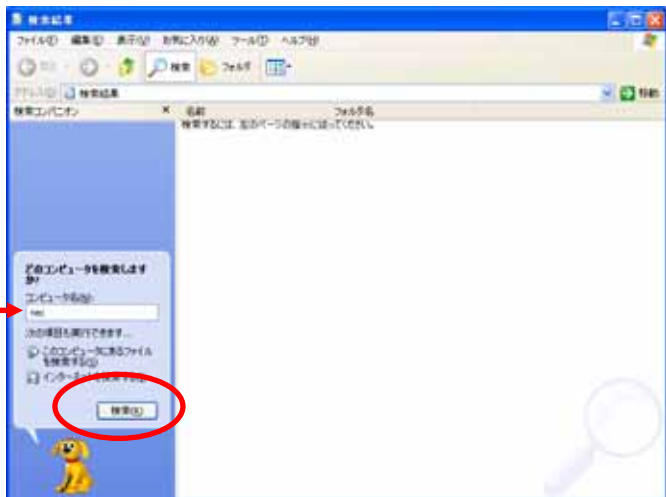
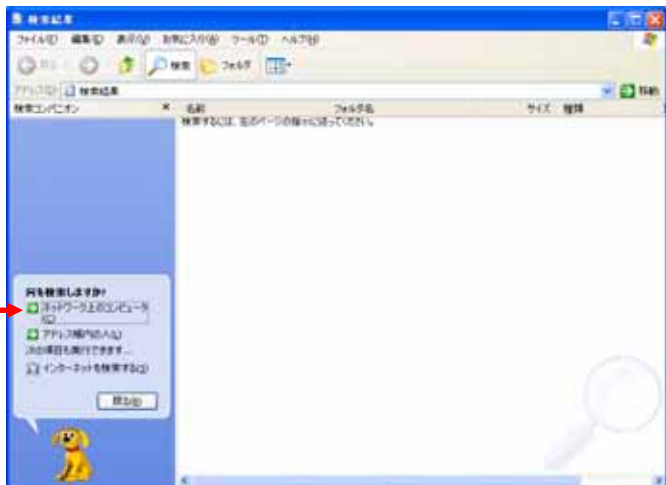
[スタート] - [検索]をクリックしてください。

[コンピュータまたは人]をクリックしてください。

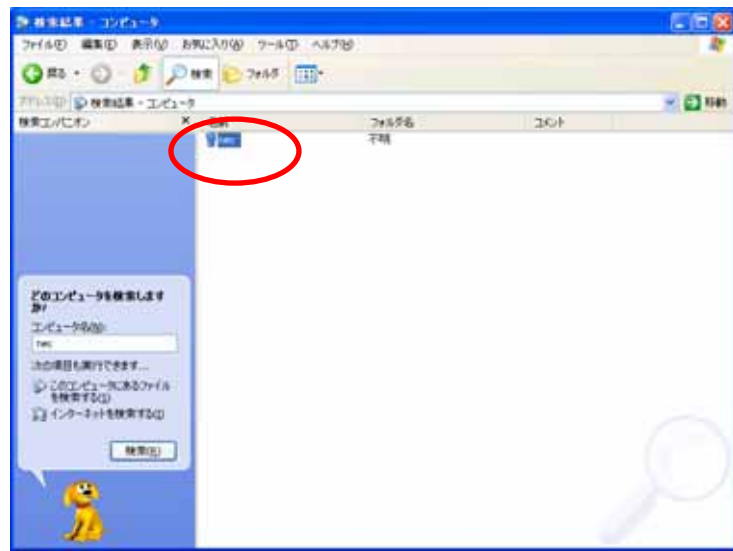
[ネットワーク上のコンピュータ]をクリックしてください。

サーバーの[コンピュータ名]を入力し
[検索]をクリックください。

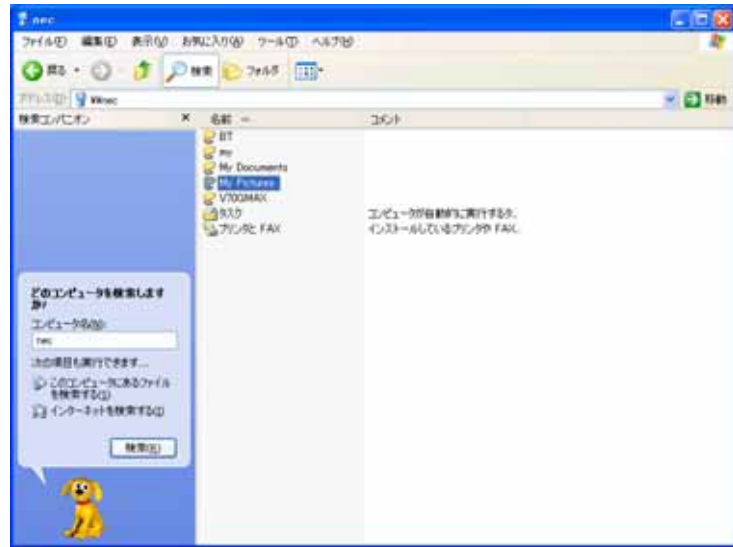
次項へ



サーバーのコンピュータが発見されたことを確認しアイコンをダブルクリックしてください。



共有フォルダが表示されることを確認してください。



これでサーバーのパソコンの検索を終了します。

ここまでくれば、あとは利用に応じて他のPCのディスク内部を見て、ファイルを編集したり自分のPCへファイルコピーしたりと、いろいろなことができるようになります。

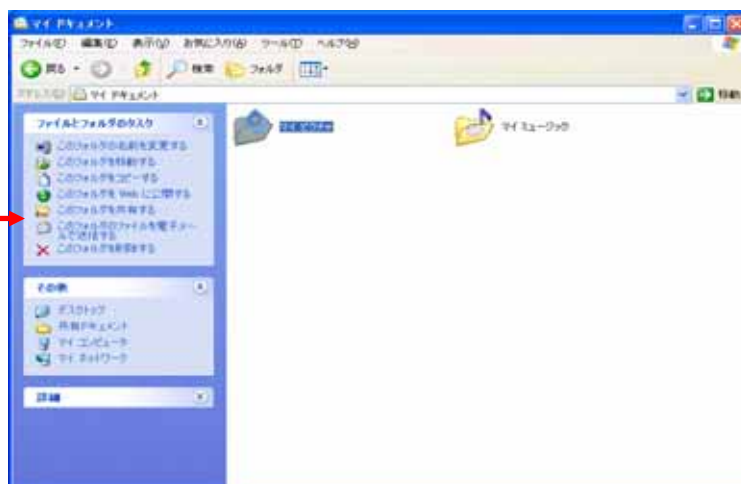
4. 補足情報

本項では、ご利用環境によって異なる画面が表示されることがある場合の補足情報を記載します。

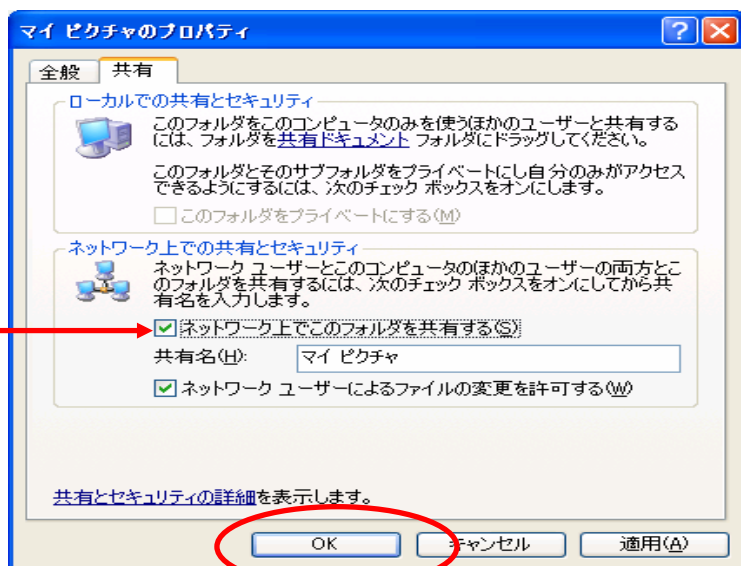
特にWindowsXPのサービスパック2を適用したパソコンでは、セキュリティやファイアウォールの設定を行う必要がありますので、設定には以下の情報を参考にしてください。

4.1 ファイル共有の設定 補足

共有したいフォルダを選択し
[このフォルダを共有する]
をクリックしてください



[ネットワーク上でこのフォルダを共有する]
をチェックし[OK]をクリックしてください



WindowsXP サービスパック2など、
ご利用環境によっては、右画面が
表示されず、次頁のように表示され
る場合があります。

[共有]の[ネットワーク上での共有とセキュリティ](右の画面)で以下の設定を行ってください。

[危険を認識した上で、ウィザードを使わないでファイルを共有する場合はここをクリックしてください。]をクリックしてください

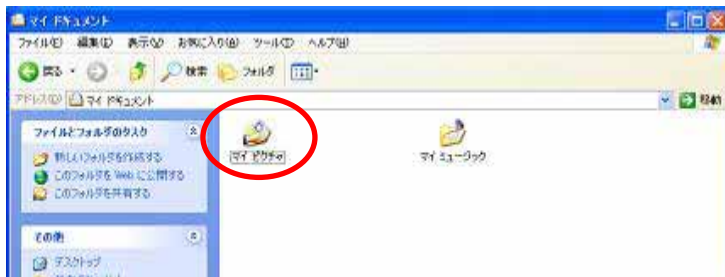
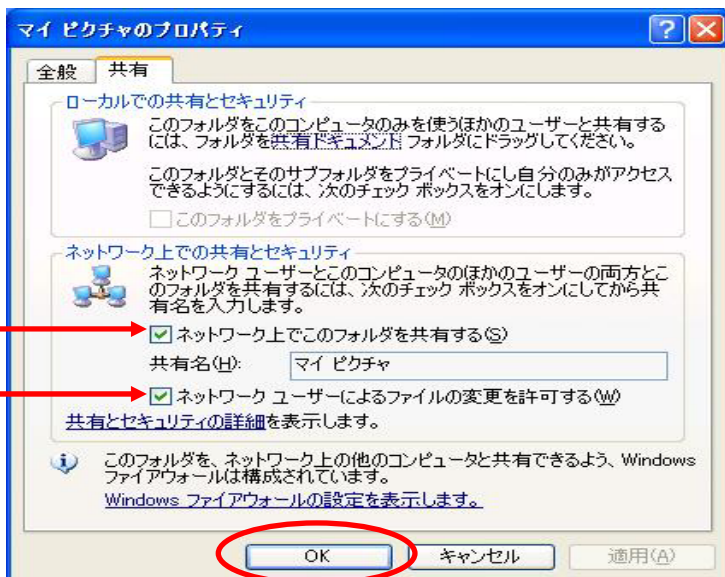
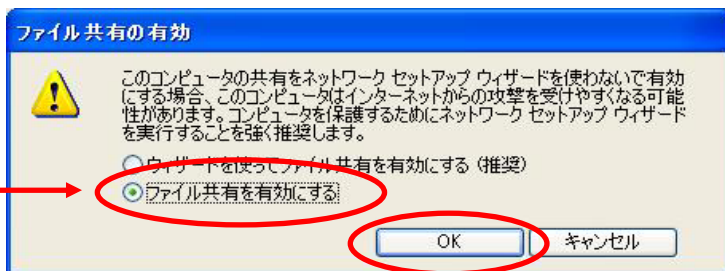
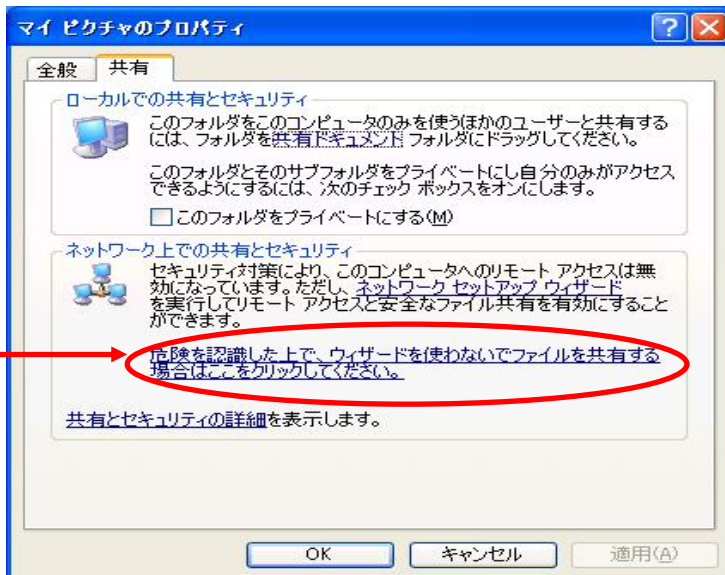
[ファイルを共有を有効にする]をチェックし[OK]をクリックしてください

画面が右下のように変わります。

[ネットワーク上でこのフォルダを共有する]と[ネットワークユーザーによるファイルの変更を許可する]をチェックし[OK]をクリックしてください

共有フォルダに手のマークがつけます。

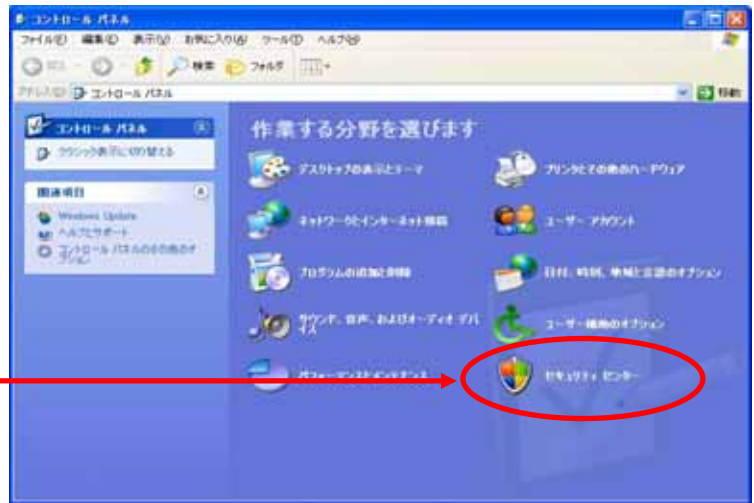
これでファイル共有の設定は終了です。



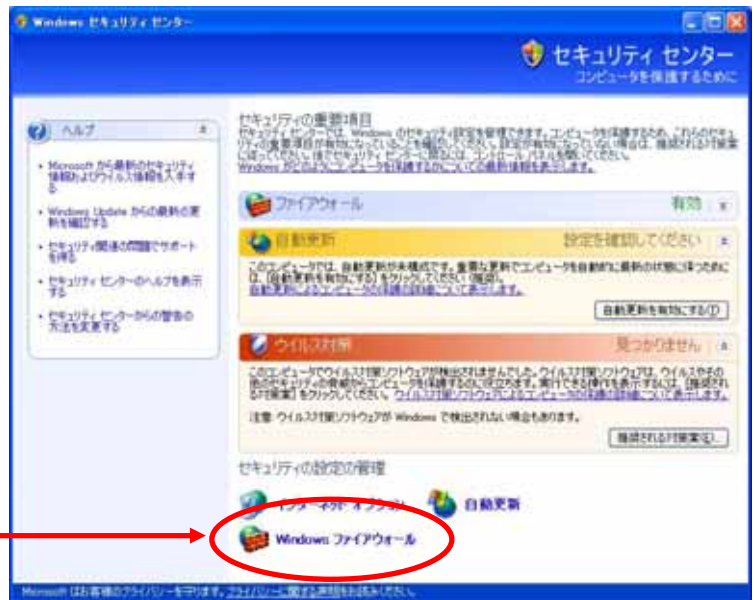
4.2 Windowsファイアウォールの設定

WindowsXPサービスパック2を適用したパソコンではWindowsファイアウォール機能が強化され、ファイル共有を行う場合には設定を行う必要があります。

[スタート] - [設定] - [コントロールパネル]をクリックしてください。



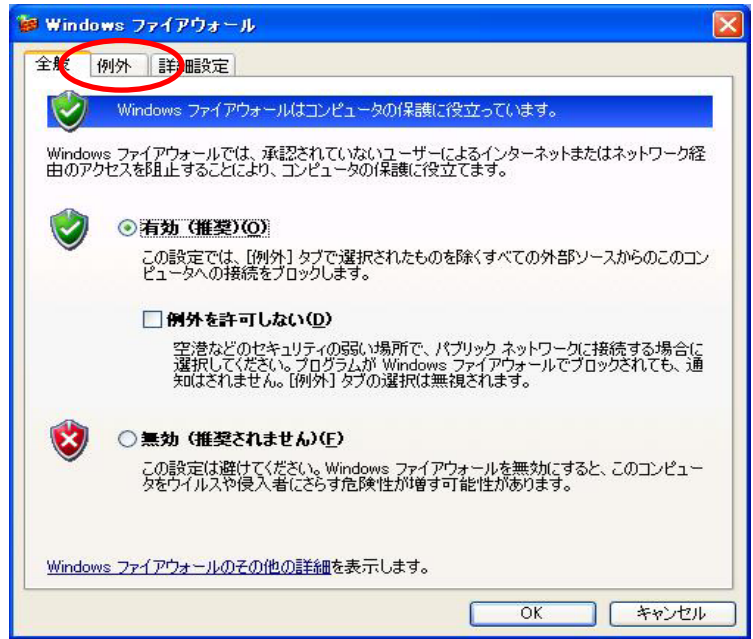
[セキュリティセンター]をクリックしてください



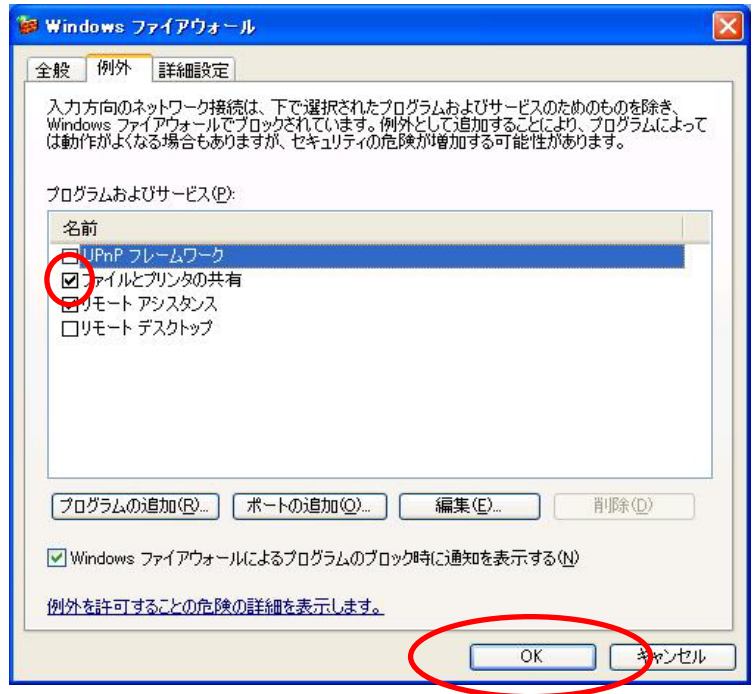
[Windows ファイアウォール]をクリックしてください

次項へ

[例外]をクリックしてください



[ファイルとプリンタの共有]にチェックし[OK]をクリックしてください



すでに[ファイルとプリンタの共有]にチェックが入っていれば、そのまま[OK]をクリックしてください。

これでWindowsファイアウォールの設定は終了です。